

第63回

全日本女子剣道

選手権大会

第72回

全日本剣道

選手権大会

とき ^{令和}6年 11月3日(日・祝)
午前9時45分開会 / 午前10時20分試合開始

ところ 日本武道館
(東京都千代田区北の丸公園2-3)

■ 主催 / 公益財団法人全日本剣道連盟 ■ 主管 / 一般財団法人東京都剣道連盟
■ 後援 / スポーツ庁・読売新聞社・毎日新聞社・公益財団法人日本武道館

<https://www.kendo.or.jp>

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

大会次第

1. 係 員 集 合 7 : 30
2. 選 手 集 合 8 : 00
3. 選 手 整 列 9 : 40
4. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 9 : 45
5. 開 会 式 9 : 45~10 : 05
6. 日 本 剣 道 形 10 : 05~10 : 15
7. 試合1回戦男女各2試合場(各16試合) 10 : 20~12 : 30
8. 試合2回戦男女各2試合場(各8試合) 12 : 45~13 : 50
9. 試合3回戦男女各2試合場(各4試合) 14 : 10~14 : 45
10. 試合4回戦男女各1試合場(各4試合) 15 : 05~15 : 45
11. 試合準決勝男女各1試合場(各2試合) 16 : 05~16 : 45
12. 試合決勝男女各1試合場(各1試合) 16 : 55~17 : 15
13. 閉 会 式 (表 彰) 17 : 25~17 : 50

開 会 式

1. 選 手 整 列 …………… 9 : 40
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 …………… 9 : 45
3. 国 歌 斉 唱
4. 天 皇 杯 ・ 皇 后 盃 返 還 (レプリカ授与)
5. 優 勝 旗 返 還
6. 10 回 出 場 表 彰
7. 大 会 会 長 挨 拶
8. 関 係 者 紹 介
9. 試 合 上 の 注 意
10. 選 手 退 場 …………… 10 : 05

閉 会 式

1. 選 手 整 列 …………… 17 : 25
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列
3. 表 彰
4. 優 秀 選 手 発 表
5. 大 会 会 長 挨 拶
6. 退 場 …………… 17 : 50

第72回 全日本剣道選手権大会要項抜粋

1 趣 旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3 出場選手資格および人員

- (1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。
- (2) 年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、今大会前日の令和6年11月2日を基準とし、平成16年11月2日以前に生まれた者)
- (3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和6年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。
- (4) 出場選手人員は次のとおりとする。
東京…4名
埼玉・千葉・大阪・福岡…3名

北海道・茨城・神奈川・愛知・兵庫…2名

その他の府県…1名

前年度優勝者…1名 計64名

4 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで勝敗の決するまで継続する。

5 表 彰

- (1) 選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。
- (2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。
- (3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。
- (4) 出場選手には参加賞を贈る。

第63回 全日本女子剣道選手権大会要項抜粋

1 趣 旨

女子剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた女子選手により、皇后盃の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3 出場選手資格および人員

- (1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。
- (2) 年齢は満18歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、令和7年4月1日を基準とし、平成19年4月1日以前に生まれた者)
- (3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和6年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。
- (4) 出場選手人員は次のとおりとする。
東京…4名
埼玉・千葉・愛知・大阪…3名
茨城・神奈川・静岡・兵庫・福岡…2名

その他の道府県…1名

前年度優勝者…1名 計64名

4 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2) 竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。
- (3) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。
- (4) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで勝敗が決するまで継続する。

5 表 彰

- (1) 選手権者には、皇后盃・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。
- (2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。
- (3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。
- (4) 出場選手には参加賞を贈る。

我が国の剣道の流れ

徳川幕藩体制の崩壊——明治維新の政道一新によって衰頹の一途を辿った剣道界は、明治28（1895）年、大日本武徳会の創立を転機として復興への曙光を見出し、次第に発展への途を歩み、昭和初期から10年代にかけて最盛期を迎えた。昭和4（1929）年には天皇の御即位の大礼を祝って天覧武道大会が催され、同9年には皇太子殿下御誕生奉祝天覧武道大会、同15年には紀元2600年奉祝天覧武道大会と前後3回にわたって全国から精鋭をすぐって大規模な優勝試合が行われた。この頃は日本の国勢の目覚ましい伸張とあいまって剣道の隆盛はその極に達した観があり、日本剣道史はじまって以来最も普及充実した時期であった。

しかるに第2次世界大戦の敗戦は、剣道界に潰滅的な打撃を与えた。日本占領の連合軍の施策の中であって剣道は、手ひどい弾圧を受けた。学校教育としては全面的に禁止され、社会体育の場においても厳重な制限を受け、かつまた創立以来わが国武道界の総本山として武道の普及振興を一手に掌握してきた大日本武徳会は解散を命じられ、剣道界は全く火の消えたような状態となった。

昭和27（1952）年、わが国の独立が回復するとともに剣道復興の動きはにわかに活発となり、全国の剣道愛好者の熱烈な願いが実を結び、同年10月全日本剣道連盟が設立された。これによって長い空白時代を経て剣道は再び愛好者の手に戻り、剣道界再出発への基礎が確立された。

全日本剣道連盟は発足とともに剣道界再建のために活発な活動を開始した。すなわち新しい出発に際し、審判規則ならびに称号段位制度の制定や、諸制度の整備を行い、事業面では翌28年から京都武徳殿における剣道演武大会の復活をはじめ全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会の三大会を主催するまでになった。さらに居合道、杖道大会をも加え、国民体育大会（現国民スポーツ大会）には30年から正式種目として参加し、そのほか大学、高校、中学、少年錬成大会など共同主催8大会と後援30以上の大会をと広い分野にわたって剣道の普及振興に努めている現況である。

第一に剣道の国際的発展である——日本独特の剣道の世界的普及——しかも海外の剣道愛好者は単に剣道の技術の習得だけではなくむしろ剣道の真のよさ、いわば剣道の心にひかれて剣道を行っている点に大きな特色がある。昭和45（1970）年国際剣道連盟（FIK）が結成され、現在では64か国・地域が加盟し約100か国で活動している。FIK結成と同時に第1回世界剣道選手権大会が開催され、2024年7月には第19回大会がイタリア・ミラノにて開催され、第20回大会は2027年日本・東京にて開催予定である。また海外の愛好者が毎年来日して研修に努めており、全剣連ではこれらの人びとのために毎年、指導者講習会を日本で開催しているほか、海外各国に指導者を派遣して指導と交流に努めている。FIKは現在、国際オリンピック委員会（IOC）傘下のAIMS（IOC非承認競技連盟連合）にKendoとして加盟している。

次に剣道界への女性の目覚ましい進出である。従来は男子は剣道、女子は薙刀というのが常識であったが、戦後女性の剣道界への進出は実に見張らせるばかりである。現在は下は小、中学生から上は高校、大学生、あるいは社会人に至るまで、その進出は著しく、令和5年度の剣道初段合格者27,635名のうち11,001名が女性であるという事実から見てもその進出振りがうかがえる。全剣連としては、昭和37年から全日本女子剣道選手権大会を開催している。また同時に学生

界でも高体連は同38年から女子の参加を認め、全日本学生剣道連盟でも全日本女子学生剣道大会を男子の大会と併行開催している現状である。

第3の特色は少年剣道の目覚ましい隆盛である。戦後、特に昭和30年頃から剣道が隆盛になるにともなって少年の間に剣道熱が高まってきた。これは剣道のもつ特性が少年の人間形成に及ぼす影響に対する評価が認識されるにつれて、家庭におけるしつけの問題と関連して、道場に通わせて剣道を修めさせる家庭が多くなったのに起因するところが多いと思われる。これにともなって私設道場も各地に続々と設立され、毎年夏期に日本武道館において開催される少年剣道錬成大会には全国各地から父兄付き添いで数千名の少年剣士たちが参加し、錬成に励む姿はまさに熱気を帯びている有様である。この少年剣道の隆盛にともなって、近年の社会的特徴である家庭婦人にも剣道愛好者が増加した。その家庭婦人に剣道精進の励みを与えるとともに、生涯剣道の目標を与え、併せて青少年の健全育成に資するために昭和59年に第1回の全国家庭婦人剣道大会が開催され、平成20年第25回まで実施した。以後、家庭婦人のみならず、広く女子剣道人の大会として、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会とあらため、開催されている。

このように現在の剣道は剣道人口の底辺の拡大、国際的発展、女性も含めて青少年層への目覚ましい普及などに見られるように日本民族の輝かしい文化的所産として正しく認識され、確実な発展を歩み続けている。

女子剣道の現状

わが国の女子剣道の普及・発展は近年特に著しく、戦後の剣道の新しい流れとなっている。

本大会は、全日本都道府県対抗剣道優勝大会の第10回を記念し、昭和37年5月3日に5県8名の参加により、第1回大会が開催された。

昭和46年の第10回大会には参加選手37県44名と充実し、大会名を選手権大会と改め、また都道府県対抗大会と同日に行っていた本大会は、昭和62年第26回大会より独立し開催した。

また、かねてより熱望してやまなかった皇后盃が、平成9年第36回大会より優勝者に授与されることとなり、名実ともに女子選手権者の決定大会となった。

女子剣道の底辺は広くなり、幼少年から中・高・大学生・一般、さらには既婚者等と各地域・職域において盛んに行われている。

また全国規模の女子剣道大会は、本大会を皮切りに各関係団体の尽力により華々しく開催され、現状の隆盛を見ることが出来たことは実に喜ばしいことである。

さらに本連盟では、女子剣道の普及現状に鑑み、昭和59年にママさん剣士による第1回全国家庭婦人剣道大会を、昭和63年第1回女子剣道講習会の開催、平成10年第1回女子剣道審判講習会の開催、平成28年女子剣道指導法講習会の開催、また女性剣士による討論会の企画・実施など、女子剣道の正しい普及・振興に寄与している。

さらに平成18年度より、女子審判法研修会を女子剣道七段の中から指定して開催し、平成21年度より全国家庭婦人大会に変わり実施する全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会ならびに全日本女子剣道選手権大会の審判に起用している。

あいさつ

公益財団法人全日本剣道連盟

会長 網代 忠宏



菊花薫る文化の日、第72回全日本剣道選手権大会・第63回全日本女子剣道選手権大会をここ日本武道館において、全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え、開催できますことは、誠に喜びにたえません。

男子・女子の全日本選手権大会を同日に開催するのは、コロナ禍で開催した長野での大会以来となります。日本武道館での文化の日に開催いたしますことは、大変意義深いものであります。本大会が開催できますのも、予選会開催などを実施して頂きました、各都道府県剣道連盟のご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

顧みますと戦後の困難な時代を乗り越え復興した剣道は、当時の予想を遥かに超える発展を遂げました。この歴史の中、すべての剣士に門戸を開いて行うことにした全日本剣道選手権大会の果たした役割は大きなものがあります。第6回大会（昭和33年）からは天皇杯を授与されることとなり、一般からも大きな関心が寄せられるようになりました。また、全日本女子剣道選手権大会については、昭和37年第1回大会を大阪府で開催して以来、愛知県・静岡県・兵庫県・長野県・奈良県で開催し、平成9年には皇后盃が下賜され、女子の剣道大会の中で最も権威ある大会となりました。

私たちは今後も「剣道の理念」に則った剣道の質の向上を図り、剣道の真髄を追及して普及発展に努めて参ります。更には、剣道指導の心構えの浸透を図ることにより、正しい剣道の指導を実践し、人造りに貢献するとともに、日本の伝統に育まれた剣道を、後世に継承させなければならないと考えています。本大会を通じ、より多くの方々に剣道の良さが伝わることを期待しております。

本大会は、前年度優勝者及び各都道府県での予選を勝ち抜いた男子64名・女子64名の剣士による大会となります。選手の皆さんは、郷土の榮譽を担い、多年にわたり錬磨された実力を大会の場において遺憾なく発揮されるよう切望いたします。そして、全国の剣道愛好者、海外で注目している剣道関係者、さらに将来、本大会への出場・活躍を目標とする少年少女剣士たちへ、良き模範を示して頂くことをお願いいたします。

剣道関係者の郷土においては、災害・震災に遭われた地域もあります。代表剣士の皆さんには、日本を元気づけるような試合を展開して頂きたいと思えます。

結びに本大会の開催にあたり、ご後援を頂いたスポーツ庁・読売新聞社・毎日新聞社・公益財団法人日本武道館、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人東京都剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶といたします。

祝 辞

文部科学大臣 あべ 俊子



第72回全日本剣道選手権大会並びに第63回全日本女子剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通じて心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

今日、剣道が国内外において子供から大人まで、また、日本はもとより世界中で多くの人々に親しまれ、広く普及・発展するなど、国際的發展を遂げておりますことは誠に喜ばしいことです。

本大会は、各都道府県より選出された剣士が一堂に会し、剣道日本一を決める国内最高峰の大会であり、全国の剣士が目標とする憧れの舞台です。

出場される選手の皆さん、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、大会を通じて全国の剣道を愛好する仲間との交流や親睦を大いに深められ、本大会が皆さんの心に残る素晴らしいものとなることを期待いたします。

文部科学省としましては、スポーツが国民の皆様を元気づけ、生活や心を豊かにし、心身の健康の保持増進につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。引き続き、皆様からの御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

大 会 役 員 (順不同)

大会会長	網代忠宏				
大会副会長	真砂 威	藤原崇郎	伊藤哲朗	千葉胤道	
大会特別顧問	あべ俊子	山口寿一	松木 健	高村正彦	稲葉延雄
大会顧問	遠藤利明	山下泰裕	露木康浩	緒方禎己	山田 隆
	亀井正明	末次省三	藤井 剛	小池大介	沖田 昭
	川端達夫	太田健一郎	久保木 優	上田憲幸	福本修二
	大嶽將文	小倉 昇	忍足 功	梯 正治	黒郷源慈
	小坂達明	島野泰山	末平佑二	鈴木康生	中田琇士
	牧瀬憲保	三宅一志	目黒大作	宮坂昌之	宮坂信之
大会参与	室伏広治	聖成竜太	杉山大樹	駄場 繁	飯嶋真晴
	高品圭佑	岸田英志	中村有花	吉川英夫	武田牧雄
	三上順一	小松 誠	安部美知雄	小笠原宏志	井上雅勝
	長谷川弘一	水田重則	白石正範	小林一隆	栗原憲一
	幸野 實	荻莊 誠	南 信廣	大門 進	片山外一
	二木むつみ	二槁高弘	堤 俊彦	中森博文	中野正堂
	伊吹文明	長榮周作	吉田克法	世耕弘成	神谷明文
	藤田長久	田中秀和	中西 章	岸田 芋	高木弘伸
	三原悦男	渡邊三則	藤川和秋	青柳俊彦	川上春生
	三浦 悟	尾方正照	橋口光博	野村良三	親川光俊
	松村建世	塚本素清	中本和洋	下村博文	土崎祐一郎
	青海 正	林 直人	沖山栄一		
大会委員長	中谷行道				
大会副委員長	蒔田 実	香田郡秀	佐藤厚子	久保木 優	
大会委員	上浦かなえ	軽米満世	篠原政美	高橋俊昭	谷 勝彦
	内藤常男	長尾 進	濱崎 満	櫻井美香	秋山知子
	池田公律	井島 章	太田健一郎	岡嶋 恒	小田佳子
	笠村浩二	金井優子	木下博文	佐伯浩美	高橋昭博
	常田政邦	俊野徹人	成瀬朋恵	灰谷達明	本多進一
	武藤士津夫	山本洋一	横須ます子	吉岡成子	吉田泰将
	奈良 隆	安保洋子	小風 明	吉田篤生	大高ラビンニュ
	亀井 徹	千葉胤道	百鬼史訓	浪岡大介	舟木 隆
	水田重則	西川清紀	右田重昭	石井 猛	平尾 泰

競技役員割当表 (順不同)

実行委員長	蒔田 実	高澤 彰	猪狩保光	小林晋一	加古 恵	高橋 嶺
実行委員	松原 徹	斎藤 諒	深見亮太	木村年宏	伊藤 豊	佐々木宏介
(本部兼プロ結果記入)	長濱直弥					
	入江亮太					
北口受付係	西川尚輝	安部楓馬	深見亮太	関根真子	倉ノ下萌香	増田君枝
	加古 恵	鈴木淳子	井口義章	佐々木 良	有竹輝浩	
	(案内)	後藤理恵	近藤賢一			
	(警備)	谷口 豊				
警備係駐車場	吉田育弘	齋藤祐嗣				
西口受付係	(チケット)	千葉まり子	松原 徹	倉ノ下萌香	佐藤穂貴	吉住久彌
		石井洋光	櫻井孝仁	蓮沼俊二		
	(警備)	乙川和之	高橋平和			
南西2階受付係	(チケット)	千葉まり子	松原 徹	倉ノ下萌香	金山あずさ	池田光洋
		中村美宥	飯塚凜			
	(警備)	東出則昭	田嶋 光			
警備係中道場棟	瀧原英恵					
会場責任者	(第一試合場)	川名賢充		(第二試合場)	五十嵐清裕	
	(第三試合場)	宮林高夫		(第四試合場)	井上哲也	
選手係兼竹刀検査係	(第一試合場)	工藤國夫	片野幸司	佐藤 護	浅井文貴	
	(第二試合場)	関川慎治	伊藤祐樹	飯塚清	長谷川 崇	
	(第三試合場)	鈴木啓仁	岩田 裕	濱村 恵	紺野千恵子	
	(第四試合場)	岡部英幸	坂田則子	三浦和人	吉村政之	
記 録 係	(第一試合場)	桂川祥吾	志村益仁	野中亮介		
	(第二試合場)	犬塚 祥	田尾有介	野村 優		
	(第三試合場)	西川 歩	佐藤隆輝	鈴木悠斗		
	(第四試合場)	増子桜空	糸山夕貴	古庄桃望		
時 計 係	(第一試合場)	高橋栄司	大川理暉	(第二試合場)	中川原康平	吉井智顕
	(第三試合場)	前原晴人	木塚康太	(第四試合場)	安村幸優	関口真弥
掲 示 係	(第一試合場)	吉田涼太	矢坂 麗	(第二試合場)	川鍋幸太郎	田中万結
	(第三試合場)	叶山陽平	馬屋原徹哉	(第四試合場)	窪田慎二	佐藤こころ
大掲示係	宮内和明	宇都宮睦実	鬼頭宏季	深川佳亮		
筆 耕 係	古川茂一	安藤和子				
放 送 係	榊 里美	佐藤利子				
(放送連絡員)	川部好彬	宇田川隼生				
電光掲示係	目黒脩己	松井天斗				
NHK連絡員	星野楓芽	千葉寛樹	廣次蒼空	尼岡克紀		
ライブ配信・SNS発信	情報小委員会	矢野雅之	野澤 豪	和栗諒人	澤飯功明	
写 真 係	新美俊太郎	五十嵐一真	鈴木徳之	和栗淑子		
防火監視員	遠藤尚人	鈴木徳之	高森 毅			
ドーピング検査	関根真子					
プログラム販売係	齋藤和哉	高杉朋美	土屋美希	高橋一央	矢野正和	
書籍販売係	松浦千恵	沖津夏澄	進藤結花			
接 待 係	松井由枝	矢崎理沙	師藤愛菜	藤原日菜乃	森澤琴乃	
救 護 係	越智小枝	富安梨恵				
警 備 係	(1階・地下)	遠藤尚人	林 拓郎	武蔵治斗	瀧山健太	
	(階 段)	近藤喜隆	荒井皓介	古屋真一郎	中島雄基	新澤佳代
	(エレベーター)	田端美香	荒川洋子	浅野泰生	曾根田 慧	長谷川晴香
	(アリーナ中道場)	緒方辰徳		(東 口)	川下 毅	川下妙子
北の丸事務所	松原 徹	鈴木徳之	加藤至恩			
			高森 毅			

NHK総合テレビ解説 (男子) 剣道教士 平尾 泰 (女子) 剣道教士 竹中健太郎

審判員

審判長	石塚美文 剣道範士	審判主任			豊村東盛 剣道範士	末平佑二 剣道範士
剣道範士 大城戸 功	剣道範士 東 良美	剣道範士 谷 勝彦	剣道範士 松田 勇人	剣道範士 下島貴代一		
剣道範士 船津 晋治	剣道範士 清水 新二	剣道範士 寫末 秀一	剣道範士 山崎 尚	剣道範士 石田 利也		
剣道範士 山中 洋介	剣道範士 松本 政司	剣道範士 宮崎 正裕	剣道範士 井島 章	剣道範士 石川 薫		
剣道範士 石井 猛	剣道範士 浦 和人	剣道範士 神崎 浩				

第72回 全日本剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・石塚美文(大阪)

第1試合場

- 主任・豊村東盛(東京)
- 1組
 - ①大城戸 功(愛媛)
 - ②石田 利也(東京)
 - ③井島 章(千葉)
 - 2組
 - ①東 良美(愛知)
 - ②宮崎 正裕(神奈川)
 - ③神崎 浩(大阪)
 - 3組
 - ①下島貴代一(岐阜)
 - ②清水 新二(熊本)
 - ③寫末 秀一(福岡)

第2試合場

- 主任・末平佑二(石川)
- 1組
 - ①谷 勝彦(群馬)
 - ②山崎 尚(愛知)
 - ③松本 政司(香川)
 - 2組
 - ①松田 勇人(奈良)
 - ②山中 洋介(鳥取)
 - ③石川 薫(京都)
 - 3組
 - ①船津 晋治(大阪)
 - ②石井 猛(東京)
 - ③浦 和人(兵庫)

- [備考] 1. 各試合場とも、3試合ずつ行い、主審は交代しない。主審は、①より②③の順で行う。
 2. 3回戦まで2試合場で行い、4回戦より1試合場で行う。
 3. ()内は、登録の都道府県剣道連盟。

審判員

審判長 石塚美文 剣道範士 	審判主任 塚本博之 剣道範士 				古川和男 剣道範士 
剣道教士 山本由香 	剣道教士 味上真紀 	剣道教士 佐藤さとみ 	剣道教士 栗田幸枝 	剣道教士 谷ひとみ 	
剣道教士 中嶋佳代子 	剣道教士 今道恵子 	剣道教士 森島直子 	剣道教士 石田真理子 	剣道教士 伊東たみ代 	
剣道教士 阿部都貴子 	剣道教士 村山香織 	剣道教士 芦田環 	剣道教士 忠政美樹 	剣道教士 平野悦子 	
剣道教士 福田美佐子 	剣道教士 緒方有希 	剣道教士 新原のぞみ 			

第63回 全日本女子剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・石塚美文(大阪)

第3試合場

- 主任・塚本博之(東京)
- 1組 — ①平野悦子(徳島)
 ②中嶋佳代子(東京)
 ③福田美佐子(長崎)
- 2組 — ①栗田幸枝(埼玉)
 ②山本由香(北海道)
 ③村山香織(兵庫)
- 3組 — ①伊東たみ代(奈良)
 ②忠政美樹(岡山)
 ③今道恵子(愛知)

第4試合場

- 主任・古川和男(北海道)
- 1組 — ①佐藤さとみ(福島)
 ②谷ひとみ(東京)
 ③味上真紀(宮城)
- 2組 — ①阿部都貴子(兵庫)
 ②森島直子(愛知)
 ③緒方有希(熊本)
- 3組 — ①石田真理子(大阪)
 ②芦田環(岡山)
 ③新原のぞみ(鹿児島)

- [備考] 1. 各試合場とも、3試合ずつ行い、主審は交代しない。主審は、①より②③の順で行う。
 2. 3回戦まで2試合場で行い、4回戦より1試合場で行う。
 3. ()内は、登録の都道府県剣道連盟。

第72回全日本剣道

第1試合場

	段位	出場 回数	氏名	選出県	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝	決
1	錬六	①	松井 雅嗣	(北海道)	1					
2	錬六	⑧	足立 柳次	(埼玉)	1	33				
3	錬七	⑤	山名 良昌	(静岡)	2					
4	四段	②	堤 光誠	(大分)	2					
5	錬六	⑤	合屋 龍	(京都)	3		49			
6	五段	②	佐々木健介	(鳥取)	3	34				
7	五段	②	泉 賢史	(富山)	4					
8	五段	①	星野 秀明	(群馬)	4			57		
9	五段	①	田内 雄大	(千葉)	5					
10	五段	②	濱崎 翔大	(鹿児島)	5	35				
11	錬六	③	大谷 昇平	(福島)	6					
12	五段	①	山内 駿	(奈良)	6		50			
13	五段	①	杉田 裕紀	(岡山)	7					
14	五段	⑤	星子 啓太	(東京)	7					
15	四段	①	川頭 泰輔	(佐賀)	8	36				
16	錬六	⑥	中澤 公貴	(高知)	8					
17	錬六	③	松崎 亮介	(宮崎)	9				61	
18	四段	②	近本 太郎	(愛知)	9	37				
19	錬六	③	菅野 隆行	(兵庫)	10					
20	錬六	①	小池 卓司	(茨城)	10					
21	五段	①	染谷 恒貴	(千葉)	11		51			
22	六段	①	藤原 良仁	(香川)	11	38				
23	錬七	①	古舘 将	(岩手)	12					
24	四段	②	棗田 龍介	(広島)	12					
25	錬六	①	牛島 辰徳	(大阪)	13			58		
26	五段	③	後藤 拓真	(石川)	13	39				
27	四段	④	大平 翔士	(東京)	14					
28	錬六	③	山下 雄輔	(三重)	14					
29	三段	①	長谷川碩亮	(新潟)	15		52			
30	五段	①	山崎 仁平	(神奈川)	15					
31	五段	②	牧島凜太郎	(福岡)	16	40				
32	五段	①	鶴田 和也	(青森)	16					

1	2	3	4	5	6	7	8
							
北海道代表 まつ い ま さ つぐ 松井雅嗣 (36歳)	埼玉県代表 あ だ ち り ゆ う じ 足立柳次 (33歳)	静岡県代表 や ま な よ し ま さ 山名良昌 (37歳)	大分県代表 つ つ み こ う せ い 堤 光誠 (23歳)	京都府代表 ご う や り ゆ う 合屋 龍 (32歳)	鳥取県代表 さ さ き けん す け 佐々木健介 (28歳)	富山県代表 い ず み けん じ 泉 賢史 (29歳)	群馬県代表 ほ し の ひ で あ き 星野秀明 (24歳)
1. 錬士六段	1. 錬士六段	1. 錬士七段	1. 四段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段
2. 警察官 (北海道警察)	2. 警察官 (埼玉県警察)	2. 警察官 (静岡県警察)	2. 警察官 (大分県警察)	2. 警察官 (京都府警察)	2. 警察官 (鳥取県警察)	2. 警察官 (富山県警察)	2. 警察官 (群馬県警察)
3. 明治大卒	3. 筑波大卒	3. 静岡県立浜名高卒	3. 筑波大卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 国士舘大卒	3. 日本体育大卒	3. 大阪体育大卒
4. 北海道出身	4. 鳥取県出身	4. 静岡県出身	4. 大分県出身	4. 福岡県出身	4. 鳥取県出身	4. 岐阜県出身	4. 群馬県出身
5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体2位3位	5. ●選手権大会8回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会優勝 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会5回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会3位1回出場5回 ●国体出場5回	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全日本学生大会団体3位・個人出場 ●全国高校大会団体3位・個人出場 ●全国高校選抜大会2位 ●国体出場	5. ●選手権大会5回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体3位	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場

9	10	11	12	13	14	15	16
							
千葉県代表 た う ち た け ひ ろ 田内雄大 (28歳)	鹿児島県代表 は ま さ き し ゚ ゅ う だ い 濱崎翔大 (31歳)	福島県代表 お お た に し ゚ ゅ う へ い 大谷昇平 (34歳)	奈良県代表 や ま う ち し ゚ ゅ ん 山内 駿 (30歳)	岡山県代表 す ぎ た ひ ろ の り 杉田裕紀 (29歳)	東京都代表 ほ し こ け い た 星子啓太 (26歳)	佐賀県代表 か わ ず た い す け 川頭泰輔 (24歳)	高知県代表 な か ざ わ き み た か 中澤公貴 (34歳)
1. 五段	1. 五段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 四段	1. 錬士六段
2. 警察官 (千葉県警察)	2. 警察官 (鹿児島県警察)	2. 警察官 (福島県警察)	2. 警察官 (奈良県警察)	2. 警察官 (岡山県警察)	2. 警察官 (警視庁)	2. 警察官 (佐賀県警察)	2. 警察官 (高知県警察)
3. 筑波大卒	3. 国際武道大卒	3. 国際武道大卒	3. 関西大卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 筑波大卒	3. 大阪体育大卒	3. 国士舘大卒
4. 山形県出身	4. 鹿児島県出身	4. 福島県出身	4. 奈良県出身	4. 岡山県出身	4. 鹿児島県出身	4. 佐賀県出身	4. 高知県出身
5. ●選手権大会初出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●全国警察大会団体3部優勝・2部2位 ●国体優勝3位	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国スガ出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会5回目出場第69回大会優勝3位2回 ●世界大会団体優勝2回・個人優勝1回 ●全国警察大会団体優勝2回・個人優勝2回	5. ●選手権大会初出場 ●国体出場	5. ●選手権大会6回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場

<p>17</p>  <p>宮崎県代表 まつざきりょうすけ 松崎亮介 (35歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (宮崎県警察) 3. 中央大卒 4. 宮崎県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県大会出場 ●国体出場</p>	<p>18</p>  <p>愛知県代表 ちかもとたろう 近本太郎 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (愛知県警察) 3. 筑波大卒 4. 愛知県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国警察大会出場 ●国体出場</p>	<p>19</p>  <p>兵庫県代表 すがのたかゆき 菅野隆行 (34歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (兵庫県警察) 3. 法政大卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体一部2位・個人 出場 ●国体出場</p>	<p>20</p>  <p>茨城県代表 こいけたくじ 小池卓司 (38歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (茨城県警察) 3. 日本大卒 4. 茨城県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会2位 ●全国警察大会団体・個人 出場 ●全日本学生大会 団体優勝</p>	<p>21</p>  <p>千葉県代表 そめやひさたか 染谷恒貴 (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (千葉県警察) 3. 国士舘大卒 4. 千葉県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体・個人 出場</p>	<p>22</p>  <p>香川県代表 ふじわらよしひと 藤原良仁 (30歳)</p> <p>1. 六段 2. 警察官 (香川県警察) 3. 東海大卒 4. 香川県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体2部3位・個人 出場</p>	<p>23</p>  <p>岩手県代表 ふるだてまさる 古舘 将 (35歳)</p> <p>1. 錬士七段 2. 教員 (岩手県立宮古高) 3. 日本体育大卒 4. 岩手県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国教職員大会 出場9回 ●国体優勝1回 出場5回</p>	<p>24</p>  <p>広島県代表 なつめだりゅうすけ 粟田龍介 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (広島県警察) 3. 日本体育大卒 4. 広島県出身 5. ●選手権大会2回 目出場第71回 大会優勝 ●都道府県大会3位 ●全日本学生大会 団体2位 ●全国高校大会個人 3位</p>
---	---	---	---	---	--	--	---

<p>25</p>  <p>大阪府代表 うしじまたつ のり 牛島辰徳 (35歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (大阪府警察) 3. 龍谷高卒 4. 佐賀県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体優勝・個人 出場 ●国体出場</p>	<p>26</p>  <p>石川県代表 ごとうたくま 後藤拓真 (30歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (石川県警察) 3. 東海大卒 4. 石川県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●全国警察大会団体・個人 出場 ●国体出場</p>	<p>27</p>  <p>東京都代表 おおひらしょうし 大平翔士 (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (警視庁) 3. 筑波大卒 4. 東京都出身 5. ●選手権大会4回 目出場 ●世界大会団体優勝・個人3位 ●全国警察大会 団体優勝・個人2位</p>	<p>28</p>  <p>三重県代表 やました ゆうすけ 山下雄輔 (35歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (三重県警察) 3. 関西学院大卒 4. 三重県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県大会優勝 ●全国警察大会団体・個人 出場 ●国体出場</p>	<p>29</p>  <p>新潟県代表 はせがわひろあき 長谷川碩亮 (23歳)</p> <p>1. 三段 2. 警察官 (新潟県警察) 3. 大阪体育大卒 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体・個人出場 ●全国高校大会 団体・個人出場</p>	<p>30</p>  <p>神奈川県代表 やまざき じん べい 山崎仁平 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (神奈川県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会 団体3位</p>	<p>31</p>  <p>福岡県代表 まきしまりん たろう 牧島凜太郎 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (福岡県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国警察大会個人 出場 ●全日本学生大会 個人優勝3位</p>	<p>32</p>  <p>青森県代表 つる た かず や 鶴田和也 (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (青森県警察) 3. 東北学院大卒 4. 青森県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人 出場 ●全日本学生大会 団体出場 ●全国高校大会 団体出場</p>
--	--	---	---	---	---	--	---

<p>33</p>  <p>茨城県代表 まつぎけんしろう 松崎賢士郎 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (筑波大) 3. 筑波大大学院卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会6回 目出場第68回大会優勝2位2回 ●世界大会団体優勝・個人2位 ●都道府県大会優勝2位 ●国体優勝4回</p>	<p>34</p>  <p>北海道代表 おくむらゆうた 奥村優太 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (北海道警察) 3. 国士館大卒 4. 北海道出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体2位 ●国スポ出場</p>	<p>35</p>  <p>長崎県代表 まえだせな 前田聖直 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (長崎県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会初出場 ●国体出場</p>	<p>36</p>  <p>大阪府代表 よこふじりゅうへい 横藤竜平 (25歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (パナソニックエレクトロニクス社) 3. 法政大卒 4. 大阪府出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会3位</p>	<p>37</p>  <p>神奈川県代表 そたしゅんぺい 曾田峻平 (25歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (神奈川県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 鳥根県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体2位・個人出場</p>	<p>38</p>  <p>和歌山県代表 たきもとしょうた 瀧本翔太 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (和歌山県警察) 3. 大阪体育大卒 4. 和歌山県出身 5. ●選手権大会初出場 ●国体出場</p>	<p>39</p>  <p>福井県代表 はやしだきょうへい 林田匡平 (30歳)</p> <p>1. 六段 2. 教員 (福井県立丸岡高) 3. 筑波大卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会7回 目出場2位1回3位2回 ●全国教職員大会 個人優勝3回2位1回 ●全日本学生大会 団体・個人優勝 ●国体3位</p>	<p>40</p>  <p>山梨県代表 やまもとまさと 山本雅人 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (山梨県警察) 3. 明治大卒 4. 山梨県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場5回 ●全国警察大会出場 ●全日本学生大会 個人3位2回 ●全国高校大会2位</p>
--	--	--	--	---	---	---	--

<p>41</p>  <p>岐阜県代表 いがらしひかる 五十嵐 洸 (36歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (岐阜県警察) 3. 国士館大卒 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会出場 ●国スポ出場</p>	<p>42</p>  <p>埼玉県代表 はしもとけいいち 橋本桂一 (44歳)</p> <p>1. 教士七段 2. 会社員 (伊田テクノス株) 3. 帝京大卒 4. 埼玉県出身 5. ●選手権大会8回目出場 ●東西対抗大会出場4回 ●都道府県大会優勝3位各1回出場13回 ●全日本実業団大会2位 ●全日本七段選抜 選手権大会優勝 ●全日本学生大会個人3位 ●国体優勝1回出場9回</p>	<p>43</p>  <p>鳥根県代表 なかおしょうた 中尾勝太 (32歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (鳥根県警察) 3. 鳥根県立大社高卒 4. 鳥根県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場 ●国体出場</p>	<p>44</p>  <p>愛媛県代表 むらかみやすひこ 村上泰彦 (34歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (愛媛県警察) 3. 国士館大卒 4. 愛媛県出身 5. ●選手権大会3回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会2位1回出場3回 ●国体2位1回出場3回</p>	<p>45</p>  <p>兵庫県代表 みうらこうき 三浦康貴 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (兵庫県警察) 3. 東洋大附属姫路高卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会2回目出場 ●全国警察大会団体二部優勝1回2位1回・個人出場</p>	<p>46</p>  <p>東京都代表 みやもとけいた 宮本敬太 (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (警視庁) 3. 国士館大卒 4. 茨城県出身 5. ●選手権大会6回目出場3位 ●世界大会団体優勝 ●都道府県大会優勝 ●全国警察大会団体優勝・個人3位</p>	<p>47</p>  <p>福岡県代表 みずたちひろ 水田千尋 (24歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (福岡県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会3位 ●国体2位</p>	<p>48</p>  <p>秋田県代表 くにやすかずは 国安和葉 (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (秋田県警察) 3. 流通経済大卒 4. 秋田県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体出場3回・個人出場2回 ●国体出場2回</p>
---	---	---	--	---	---	---	---

49	50	51	52	53	54	55	56
							
長野県代表 にしざわ しん や 西澤慎也 (28歳)	沖縄県代表 か よう わね たか 嘉陽宗隆 (36歳)	山形県代表 ひ な た ゆう や 日向裕也 (31歳)	栃木県代表 おお ひ ら か け と 大平翔斗 (21歳)	福岡県代表 い け だ と ら の す け 池田虎ノ介 (23歳)	埼玉県代表 い と う ゆ う た 伊藤勇太 (25歳)	広島県代表 や の こう め い 矢野孔明 (37歳)	大阪府代表 き む ら け い と 木村恵都 (23歳)
1. 五段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 四段	1. 四段	1. 四段	1. 六段	1. 四段
2. 警察官 (長野県警察)	2. 警察官 (沖縄県警察)	2. 警察官 (山形県警察)	2. 学生 (鹿屋体育大4年)	2. 警察官 (福岡県警察)	2. 警察官 (埼玉県警察)	2. 刑務官 (広島拘置所)	2. 警察官 (大阪府警察)
3. 長野商業高卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 流通経済大卒	3.	3. 筑波大卒	3. 法政大卒	3. 清和大卒	3. 鹿屋体育大卒
4. 長野県出身	4. 沖縄県出身	4. 山形県出身	4. 東京都出身	4. 福岡県出身	4. 埼玉県出身	4. 広島県出身	4. 群馬県出身
5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県大会出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会3回 目出場 ●全国警察大会団 体3部優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●全日本学生大会 団体優勝3位各1 回	5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団 体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会3位 ●全国矯正職員大 会団体優勝 ●国体出場2回	5. ●選手権大会初出場 ●世界大会個人3位 ●全日本学生大会 個人優勝2位 ●国体優勝

57	58	59	60	61	62	63	64
							
愛知県代表 や が つ ば さ 屋我飛翔 (25歳)	滋賀県代表 な か む ら は る た か 中村治貴 (30歳)	熊本県代表 ざ い と う た か せ 齊藤教世 (26歳)	千葉県代表 し ら と り ゆ う や 白鳥湧也 (26歳)	山口県代表 し ば た し ゅ ん す け 柴田駿介 (34歳)	宮城県代表 せ ん だ か い 千田 海 (28歳)	徳島県代表 い わ ほ ら じ ゅ ん や 岩原潤哉 (21歳)	東京都代表 た け の う ち ゆ う や 竹ノ内佑也 (31歳)
1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 三段	1. 六段
2. 警察官 (愛知県警察)	2. 社員 (東レ株)	2. 警察官 (熊本県警察)	2. 教員 (千葉県立君津高)	2. 警察官 (山口県警察)	2. 警察官 (宮城県警察)	2. 学生 (鹿屋体育大4年)	2. 警察官 (警視庁)
3. 鹿屋体育大卒	3. 初芝立命館高卒	3. 駒澤大卒	3. 筑波大卒	3. 日本大卒	3. 明治大卒	3.	3. 筑波大卒
4. 沖縄県出身	4. 大阪府出身	4. 熊本県出身	4. 千葉県出身	4. 福岡県出身	4. 宮城県出身	4. 徳島県出身	4. 宮崎県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出 場2回	5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団 体出場 ●国体出場2回	5. ●選手権大会3回 目出場 ●全日本学生大会 団体2位2回・個 人3位	5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体二部優勝・個 人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会5回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全日本学生大会 団体・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出 場 ●全日本学生大会 個人出場 ●国体出場 ●全国高校選抜大 会出場	5. ●選手権大会6回 目出場第62回大 会優勝 ●世界大会団体優 勝 ●全国警察大会団 体優勝・個人優 勝

第63回全日本女子剣

第3試合場

	段位	出場 回数	氏名	選出県	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝	決
1	三段	初	高橋ひかり	(千葉)	1					
2	四段	③	池田 仁美	(兵庫)	2	33				
3	四段	②	関川 絢心	(北海道)	3					
4	六段	⑩	渡邊 タイ	(熊本)	4		49			
5	五段	③	内田 涼子	(東京)	5					
6	五段	④	山崎 里奈	(宮崎)	6	34				
7	五段	⑥	小川萌々香	(愛知)	7					
8	三段	初	森島 百咲	(香川)	8			57		
9	三段	初	中村 桜子	(茨城)	9					
10	六段	④	岡崎 千尋	(大阪)	10	35				
11	三段	初	山田 亜依	(静岡)	11					
12	六段	⑧	志藤 綾子	(埼玉)	12		50			
13	四段	初	安武 聖菜	(福岡)	13					
14	五段	④	佐藤 詩央	(富山)	14	36				
15	六段	⑮	加藤 由佳	(秋田)	15					
16	五段	⑧	竹中 美帆	(栃木)	16					61
17	錬六	③	藤澤 琴日	(岩手)	17	9				
18	五段	⑦	佐藤みのり	(東京)	18	37				
19	三段	初	加藤日向子	(鳥取)	19					
20	五段	③	横山 万優	(大阪)	20	10				
21	二段	初	亀井 琴葉	(石川)	21		51			
22	四段	③	東堅 嘉怜	(愛知)	22	11				
23	錬六	⑪	松本 弥月	(神奈川)	23	12				
24	四段	④	岩本 瑚々	(長崎)	24			58		
25	三段	初	五十嵐和奏	(福島)	25	13				
26	錬七	⑬	末永 真理	(和歌山)	26	14				
27	四段	初	玉井 凧	(千葉)	27					
28	五段	③	渡邊 茜	(愛媛)	28		52			
29	四段	②	宮川 麻衣	(山梨)	29					
30	四段	④	水川 晴奈	(岡山)	30	15				
31	三段	②	北澤 毬乃	(長野)	31					
32	三段	初	猪原 悠月	(鹿児島)	32	16				

道選手権大会組合せ

第4試合場

勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦	1回戦	段位	番	氏名	選出県
					33	四段	初	太田 彩月	(青 森)
				41	17	四段	③	笠 日向子	(茨 城)
					35	五段	初	江口 瑠花	(佐 賀)
			53		18	六段	⑥	森山 加世	(島 根)
					37	四段	④	八木 優澄	(滋 賀)
				42	19	三段	初	仲 彩乃	(三 重)
					39	六段	⑩	近藤 美洸	(東 京)
					20	四段	③	立花 愛莉	(高 知)
		59			41	六段	④	木村歩由実	(兵 庫)
					21	六段	初	作田 香帆	(広 島)
				43	43	四段	⑦	小川梨々香	(埼 玉)
			54		22	三段	初	平野 梨奈	(熊 本)
					45	五段	初	工藤 礼佳	(山 形)
				44	23	四段	④	川合 芳奈	(静 岡)
					47	四段	④	福田安優子	(群 馬)
					24	六段	⑩	大西ななみ	(福 井)
					49	五段	③	鬼塚 彩乃	(千 葉)
				45	25	五段	⑨	小松 加奈	(宮 城)
					51	五段	③	阿部なるみ	(岐 阜)
					26	五段	⑤	妹尾 舞香	(福 岡)
			55		53	五段	③	藤崎 薫子	(大 阪)
					27	四段	③	峯松 加奈	(大 分)
				46	55	四段	初	佐藤 美空	(新 潟)
					28	五段	④	表 ちさと	(東 京)
					57	五段	③	松本 智香	(神奈川)
					29	四段	初	岩原 千佳	(徳 島)
				47	59	五段	初	寺園ひろ子	(奈 良)
					30	四段	初	安藤 萌花	(愛 知)
			56		61	三段	②	奥 日菜乃	(山 口)
					31	四段	③	中村 日南	(埼 玉)
				48	63	三段	②	竹下 思美	(沖 縄)
					32	錬六	⑥	尾崎 麻美	(京 都)
63		62							

1	2	3	4	5	6	7	8
							
千葉県代表 たかはし 高橋ひかり (19歳)	兵庫県代表 いけだひとみ 池田仁美 (24歳)	北海道代表 せきかわあやね 関川絢心 (23歳)	熊本県代表 わたなべたい 渡邊タイ (32歳)	東京都代表 うちだりょうこ 内田涼子 (旧姓 高馬) (29歳)	宮崎県代表 やまさきりな 山崎里奈 (25歳)	愛知県代表 おがわももか 小川萌々香 (28歳)	香川県代表 もりしまゆき 森島百咲 (20歳)
1. 三段	1. 四段	1. 四段	1. 六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 三段
2. 学生 (順天堂大1年)	2. 警察官 (兵庫県警察)	2. 警察官 (北海道警察)	2. 警察官 (熊本県警察)	2. 警察官 (警視庁)	2. 警察官 (宮崎県警察)	2. 警察官 (愛知県警察)	2. 学生 (早稲田大2年)
3.	3. 園田学園女子大卒	3. 札幌日本大高卒	3. 日本体育大卒	3. 日本体育大卒	3. 明治大卒	3. 日本体育大卒	3.
4. 千葉県出身	4. 鹿児島県出身	4. 北海道出身	4. 熊本県出身	4. 岡山県出身	4. 宮崎県出身	4. 新潟県出身	4. 香川県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体優勝 ●全国高校選抜大会優勝	5. ●選手権大会3回 目出場 ●全日本女子学生 大会団体・個人 出場 ●全国高校大会個人 3位	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国警察大会団 体・個人出場 ●国スポ出場	5. ●選手権大会10回 目出場第62回大 会優勝 ●世界大会団体優 勝3回 ●全国警察大会個 人優勝2回	5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県女子大 会優勝 ●全国警察大会団 体優勝	5. ●選手権大会4回 目出場2位 ●全日本女子学生 大会団体2位2 回・個人2位	5. ●選手権大会6回 目出場 ●全国警察大会個 人出場 ●全日本女子学生 大会団体優勝2 位3位各1回・個 人優勝	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体・個人出場 ●国体出場

9	10	11	12	13	14	15	16
							
茨城県代表 なかむらさくらこ 中村桜子 (19歳)	大阪府代表 おかざきちひろ 岡崎千尋 (30歳)	静岡県代表 やまだあい 山田亜依 (20歳)	埼玉県代表 しとうあやこ 志藤綾子 (32歳)	福岡県代表 やすたけせいな 安武聖菜 (25歳)	富山県代表 さとうしお 佐藤詩史 (旧姓 川口) (29歳)	秋田県代表 かとうゆか 加藤由佳 (41歳)	栃木県代表 たけなかみほ 竹中美帆 (27歳)
1. 三段	1. 六段	1. 三段	1. 六段	1. 四段	1. 五段	1. 六段	1. 五段
2. 学生 (立教大1年)	2. 警察官 (大阪府警察)	2. 学生 (中央大2年)	2. 会社員 (伊田テクノス株)	2. 会社員 (福岡トヨタ自動車株)	2. 警察官 (富山県警察)	2. 教員 (秋田県立秋田北高)	2. 団体職員 (栃木県スポーツ協会)
3.	3. 法政大卒	3.	3. 大東文化大卒	3. 朝日大卒	3. 愛知学院大卒	3. 筑波大卒	3. 筑波大学院卒
4. 茨城県出身	4. 岩手県出身	4. 静岡県出身	4. 山形県出身	4. 福岡県出身	4. 富山県出身	4. 秋田県出身	4. 鳥取県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体優勝 ●全国高校選抜大 会優勝	5. ●選手権大会4回 目出場 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国中学校大会 個人出場	5. ●選手権大会8回 目出場2位 ●東西対抗大会出場 ●都道府県女子大 会優勝2位各1回 ●全日本実業団女 子大会優勝3回 ●国体出場3回	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生 大会団体・個人 出場	5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全日本女子学生 大会団体・個人 出場	5. ●選手権大会15回 目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国教職員大会 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会8回 目出場3位2回 ●世界大会団体優 勝2回

17	18	19	20	21	22	23	24
							
岩手県代表 ふじざわことか 藤澤琴日 (31歳)	東京都代表 さとう 佐藤みのり (27歳)	鳥取県代表 かとうひなこ 加藤日向子 (18歳)	大阪府代表 よこやままゆ 横山万優 (旧姓 玉置) (27歳)	石川県代表 かめいことは 亀井琴葉 (18歳)	愛知県代表 ひがしのかれん 東堅嘉怜 (23歳)	神奈川県代表 まつもとみづき 松本弥月 (32歳)	長崎県代表 いわもとここ 岩本瑚々 (22歳)
1. 錬士六段	1. 五段	1. 三段	1. 五段	1. 二段	1. 四段	1. 錬士六段	1. 四段
2. 教員 (盛岡白百合学園高)	2. 警察官 (警視庁)	2. 高校生 (米子松蔭高3年)	2. 警察官 (大阪府警察)	2. 高校生 (金沢高3年)	2. 会社員 (ハナソニックインダストリー)	2. 警察官 (神奈川県警察)	2. 学生 (筑波大4年)
3. 日本体育大卒	3. 法政大卒	3.	3. 近畿大卒	3.	3. 鹿屋体育大卒	3. 法政大卒	3.
4. 岩手県出身	4. 福島県出身	4. 鳥取県出身	4. 静岡県出身	4. 石川県出身	4. 大阪府出身	4. 福岡県出身	4. 大分県出身
5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県女子大会 出場 ●全国教職員大会 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会7回 目出場2位 ●世界大会個人3位 ●全国警察大会団 体・個人3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体出場2回・個人 出場1回 ●全国高校選抜大 会出場2回	5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●東西対抗大会出 場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国警察大会団 体優勝2位・個人 出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国高校大会団 体・個人出場 ●全国高校選抜大 会出場2回	5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●都道府県女子大 会出場 ●全日本女子学生 大会団体優勝2 位各1回	5. ●選手権大会11回 目出場第54・59 回大会優勝 ●世界大会団体優 勝3回・個人優勝 2回 ●全国警察大会個 人優勝	5. ●選手権大会4回 目出場 ●全日本女子学生 大会個人3位 ●全国高校選抜大 会2位 ●国体2位3位

25	26	27	28	29	30	31	32
							
福島県代表 いがらしわかな 五十嵐和奏 (19歳)	和歌山県代表 すえながまり 末永真理 (旧姓 山本真理子) (36歳)	千葉県代表 たまいなぎ 玉井 凧 (20歳)	愛媛県代表 わたなべあかね 渡邊 茜 (24歳)	山梨県代表 みやがわまい 宮川麻衣 (20歳)	岡山県代表 みずかわはるな 水川晴奈 (22歳)	長野県代表 きたざわまりの 北澤毬乃 (20歳)	鹿児島県代表 いはらゆうづき 猪原悠月 (21歳)
1. 三段	1. 錬士七段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 四段	1. 三段	1. 三段
2. 学生 (筑波大1年)	2. 会社員 (一般社団法人みゆーじ)	2. 学生 (順天堂大2年)	2. 教員 (愛媛県立新居浜東高)	2. 学生 (中央大2年)	2. 学生 (法政大4年)	2. 学生 (筑波大2年)	2. 学生 (中央大3年)
3.	3. PL学園高卒	3.	3. 筑波大卒	3.	3.	3.	3.
4. 福島県出身	4. 大阪府出身	4. 千葉県出身	4. 愛媛県出身	4. 山梨県出身	4. 岡山県出身	4. 長野県出身	4. 鹿児島県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体優勝 ●全国高校選抜大 会優勝	5. ●選手権大会13回出 場第51・52・61回大 会優勝2位1回3位4回 ●世界大会団体優勝 4回・個人2位2回 ●全国警察大会団 体優勝2位各1 回・個人優勝5回 2位1回3位1回	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大 会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回 目出場 ●全国教職員大会 2位 ●全国高校大会2位 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県女子大 会出場	5. ●選手権大会4回目出場 ●世界大会団体優勝 ●東西対抗大会出場 ●都道府県女子大 会優勝 ●全日本女子学生 大会団体出場・ 個人優勝 ●国体3位	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全日本女子学生 大会個人3位 ●全国高校大会団 体優勝2回 ●全国高校選抜大 会優勝	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生 大会個人2位 ●全国高校選抜大 会2位

33	34	35	36	37	38	39	40
							
青森県代表 おた さつき 太田彩月 (20歳)	茨城県代表 りゅう ひなこ 笠日向子 (22歳)	佐賀県代表 えぐち りか 江口溜花 (31歳)	島根県代表 もり やま かよ 森山加世 (32歳)	滋賀県代表 やぎ ゆずみ 八木優澄 (22歳)	三重県代表 なか あやの 仲彩乃 (22歳)	東京都代表 こん どう み ひろ 近藤美洸 (旧姓 阿部) (31歳)	高知県代表 たち ばな あいり 立花愛莉 (22歳)
1. 四段	1. 四段	1. 五段	1. 六段	1. 四段	1. 三段	1. 六段	1. 四段
2. 学生 (中央大2年)	2. 学生 (筑波大4年)	2. 教員 (上峰町立上峰中)	2. 教員 (島根県立松江養護学校)	2. 学生 (国士舘大4年)	2. 学生 (清和大4年)	2. 警察官 (警視庁)	2. 学生 (高知大4年)
3.	3.	3. 鹿屋体育大卒	3. 日本体育大卒	3.	3.	3. 法政大卒	3.
4. 青森県出身	4. 福岡県出身	4. 佐賀県出身	4. 島根県出身	4. 滋賀県出身	4. 三重県出身	4. 神奈川県出身	4. 佐賀県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会3位	5. ●選手権大会3回目出場 ●全日本女子学生大会団体優勝・個人3位 ●全国高校大会団体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大会3位	5. ●選手権大会6回目出場 ●都道府県女子大会出場 ●全国警察大会個人3位	5. ●選手権大会4回目出場 ●都道府県女子大会出場 ●全国高校大会出場 ●国体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会10回目出場3位 ●世界大会個人優勝 ●都道府県女子大会優勝 ●全国警察大会団体・個人優勝	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県女子大会出場 ●全日本女子学生大会団体・個人出場

41	42	43	44	45	46	47	48
							
兵庫県代表 きむら あゆみ 木村歩由実 (32歳)	広島県代表 さくだ かほ 作田香帆 (旧姓 竹内) (30歳)	埼玉県代表 おがわり りか 小川梨々香 (25歳)	熊本県代表 ひらの りな 平野梨奈 (23歳)	山形県代表 く どう あや か 工藤礼佳 (31歳)	静岡県代表 かわい かな 川合芳奈 (22歳)	群馬県代表 ふくだ あゆ こ 福田安優子 (26歳)	福井県代表 おおにし 大西ななみ (29歳)
1. 六段	1. 六段	1. 四段	1. 三段	1. 五段	1. 四段	1. 四段	1. 六段
2. 警察官 (兵庫県警察)	2. 警察官 (広島県警察)	2. 会社員 (伊田テクノス株)	2. 警察官 (熊本県警察)	2. 教員 (山形県立酒田光陵高)	2. 学生 (筑波大4年)	2. 会社員 (株)コムCS)	2. 教員 (福井県立敦賀高)
3. 大阪体育大卒	3. 香川大卒	3. 日本体育大卒	3. 八代白百合学園高卒	3. 順天堂大卒	3.	3. 明治大卒	3. 筑波大卒
4. 高知県出身	4. 広島県出身	4. 新潟県出身	4. 熊本県出身	4. 山形県出身	4. 静岡県出身	4. 北海道出身	4. 鹿児島県出身
5. ●選手権大会4回目出場 ●全国警察大会個人出場 ●全日本女子学生大会団体3位2回	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大会出場 ●全国警察大会団体・個人出場	5. ●選手権大会7回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県女子大会優勝 ●全日本実業団女子大会優勝2回 ●全日本女子学生大会団体3位 ●国体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会個人出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大会出場 ●全日本実業団女子大会優勝	5. ●選手権大会4回目出場3位 ●世界大会団体優勝 ●全日本女子学生大会団体・個人優勝	5. ●選手権大会4回目出場 ●都道府県女子大会3位 ●全日本女子学生大会団体2位2回	5. ●選手権大会10回目出場2位3位各1回 ●全国教職員大会優勝3回 ●全日本女子学生大会個人優勝 ●国体優勝

<p>49</p>  <p>千葉県代表 おにづか あやの 鬼塚彩乃 (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (千葉県警察) 3. 清和大卒 4. 千葉県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●全国警察大会個人 出場</p>	<p>50</p>  <p>宮城県代表 こまつ かな 小松加奈 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (石巻市立釜小) 3. 明治大卒 4. 宮城県出身 5. ●選手権大会9回 目出場3位 ●全国教職員大会 3位 ●全日本女子学生 大会団体優勝・ 個人優勝</p>	<p>51</p>  <p>岐阜県代表 あべ 阿部なるみ (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 刑務官 (笠松刑務所) 3. 日本体育大卒 4. 岩手県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国矯正職員大 会団体・個人2位 ●国体出場</p>	<p>52</p>  <p>福岡県代表 せのお まいか 妹尾舞香 (24歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (福岡県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会5回 目出場第60回大 会優勝2位 ●世界大会団体優 勝・個人3位2回 ●全国警察大会団 体優勝</p>	<p>53</p>  <p>大阪府代表 ふじさきかおるこ 藤崎薫子 (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (大阪府警察) 3. 明治大卒 4. 熊本県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国警察大会団 体優勝2位 ●国体2位</p>	<p>54</p>  <p>大分県代表 みねまつ かな 峯松加奈 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (鹿屋体育大4年) 3. 4. 大分県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●全日本女子学生 大会団体優勝2 位各1回</p>	<p>55</p>  <p>新潟県代表 さとう みく 佐藤美空 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (日本体育大4年) 3. 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全日本女子学生 大会団体2位3位 各1回</p>	<p>56</p>  <p>東京都代表 おもて 表 ちさと (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (警視庁) 3. 國學院大卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会4回 目出場 ●全国高校大会団 体優勝</p>
---	--	--	---	--	--	--	--

<p>57</p>  <p>神奈川県代表 まつもと ちか 松本智香 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (神奈川県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●世界大会団体優 勝2回 ●全国警察大会個人 2位</p>	<p>58</p>  <p>徳島県代表 いわはら ちか 岩原千佳 (20歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大2年) 3. 4. 徳島県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大会2位 ●全日本女子学生 大会個人出場 ●全国高校大会団体 2位3位・個人出場 ●全国高校選抜大 会優勝 ●国体出場</p>	<p>59</p>  <p>奈良県代表 てらぞの こ 寺園ひろ子 (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (奈良県警察) 3. 同志社大卒 4. 奈良県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全国警察大会団 体・個人出場</p>	<p>60</p>  <p>愛知県代表 あん どう もえ か 安藤萌花 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (愛知県警察) 3. 名古屋大谷高卒 4. 岐阜県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会個人 出場</p>	<p>61</p>  <p>山口県代表 おく ひなの 奥 日菜乃 (20歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (明治大2年) 3. 4. 山口県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国高校大会団 体2位・個人優勝 ●全国高校選抜大 会2位</p>	<p>62</p>  <p>埼玉県代表 なかむら ひな 中村日南 (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (東和アークス㈱) 3. 日本体育大卒 4. 佐賀県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県女子大 会2位 ●全日本実業団女 子大会優勝 ●国体出場2回</p>	<p>63</p>  <p>沖縄県代表 たけした こども 竹下思美 (22歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (中京大4年) 3. 4. 沖縄県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県女子大 会出場 ●全日本女子学生 大会団体出場</p>	<p>64</p>  <p>京都府代表 おざき あさみ 尾崎麻美 (旧姓 高馬) (34歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (京都府警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 岡山県出身 5. ●選手権大会6回 目出場 ●都道府県女子大 会優勝 ●国体2位</p>
---	---	--	---	--	--	---	--

公開演武者の紹介

〔日本剣道形〕

演 武 者

清
水
新
二
劍道範士



打太刀

寫
末
秀
一
劍道範士



仕太刀

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会 (昭和28年11月8日、蔵前国技館) 優勝 榑原 正 (愛知、錬士、33) 第2位 阿部 三郎 (東京、教士、34) 第3位 鈴木 守治 (愛知、錬士、32) 第4位 植田 一 (香川、教士、40)	第2回大会 (昭和29年10月10日、東京両国メモリアルホール) 優勝 小西雄一郎 (福岡、錬士、32) 第2位 中尾 巖 (兵庫、教士、38) 第3位 中倉 清 (鹿児島、教士、44) 第4位 阿部 三郎 (東京、教士、34)
第3回大会 (昭和30年11月20日、東京両国国際スタジアム) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士、33) 第2位 植田 一 (香川、教士、42) 第3位 長島 末吉 (東京、教士、30) 第4位 田島 善人 (佐賀、教士、34)	第4回大会 (昭和31年11月18日、東京体育館) 優勝 浅川 春男 (岐阜、教士、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士、34) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士、37) 第4位 嶽崎 操 (福岡、錬士、38)
第5回大会 (昭和32年11月17日、東京体育館) 優勝 森田 信尊 (長崎、教士六段、39) 第2位 松尾 廉二 (広島、教士六段、41) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士七段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、錬士六段、30)	第6回大会 (昭和33年11月9日、東京体育館) 優勝 鈴木 守治 (愛知、教士六段、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士七段、36) 第3位 矢野 太郎 (兵庫、教士六段、35) 第4位 伊保 清次 (東京、教士六段、38)
第7回大会 (昭和34年11月29日、東京体育館) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士七段、37) 第2位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、34) 第3位 津脇 良夫 (山口、教士六段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、教士六段、32)	第8回大会 (昭和35年11月27日、東京体育館) 優勝 桑原 哲明 (宮崎、五段、21) 第2位 浦本 徹誠 (大阪、教士七段、35) 第3位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、35) 第3位 蓮井 肇 (兵庫、教士七段、43)
第9回大会 (昭和36年12月3日、東京体育館) 優勝 伊保 清次 (東京、教士七段、41) 第2位 小沼 宏至 (東京、教士七段、34) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、22) 第3位 谷口 安則 (福岡、教士七段、40)	第10回大会 (昭和37年12月2日、東京体育館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、23) 第2位 片山 峯男 (熊本、教士七段、44) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士六段、31) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、23)
第11回大会 (昭和38年12月1日、東京体育館) 優勝 矢野 太郎 (兵庫、教士七段、40) 第2位 戸田 忠男 (滋賀、五段、24) 第3位 穂山 嘉昭 (佐賀、五段、21) 第3位 小林 三留 (大阪、五段、26)	第12回大会 (昭和39年11月29日、日本武道館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、25) 第2位 西山 泰弘 (東京、錬士六段、28) 第3位 中村 毅 (東京、五段、23) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、25)
第13回大会 (昭和40年12月5日、日本武道館) 優勝 西山 泰弘 (東京、錬士六段、29) 第2位 恵土 孝吉 (愛知、六段、26) 第3位 有馬 光男 (大阪、五段、22) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、34)	第14回大会 (昭和41年12月4日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、五段、22) 第2位 村瀬 隆平 (岐阜、五段、26) 第3位 田中 信義 (島根、七段、43) 第3位 西出 功 (京都、五段、26)
第15回大会 (昭和42年12月3日、日本武道館) 優勝 堀田 国弘 (兵庫、教士七段、41) 第2位 千葉 仁 (東京、五段、23) 第3位 嶽下 武紀 (熊本、五段、22) 第3位 白藤 一郎 (大阪、五段、22)	第16回大会 (昭和43年12月1日、日本武道館) 優勝 山崎 正平 (新潟、教士七段、45) 第2位 戸田 忠男 (東京、錬士五段、29) 第3位 野沢 治雄 (埼玉、錬士七段、30) 第3位 松葉 忠文 (岐阜、五段、25)

第17回大会 （昭和44年12月7日、日本武道館） 優勝 千葉 仁（東京、錬士六段、25） 第2位 矢野 洋二（愛媛、五段、23） 第3位 有馬 光男（大阪、錬士六段、26） 第3位 藤田 長久（岡山、五段、25）	第18回大会 （昭和45年12月6日、日本武道館） 優勝 中村 毅（東京、錬士六段、29） 第2位 千葉 仁（東京、錬士六段、26） 第3位 木村 謙竜（和歌山、五段、23） 第3位 佐藤 博信（東京、教士七段、39）
第19回大会 （昭和46年12月5日、日本武道館） 優勝 川添 哲夫（東京、四段、21） 第2位 佐山 春夫（栃木、五段、23） 第3位 川井 光男（東京、錬士六段、26） 第3位 佐藤 博信（東京、教士七段、40）	第20回大会 （昭和47年12月3日、日本武道館） 優勝 千葉 仁（東京、錬士六段、28） 第2位 川添 哲夫（東京、四段、22） 第3位 有馬 光男（大阪、錬士六段、29） 第3位 山田 博徳（熊本、五段、24）
第21回大会 （昭和48年12月2日、日本武道館） 優勝 山田 博徳（熊本、錬士五段、25） 第2位 有馬 光男（大阪、錬士六段、30） 第3位 稲吉 正道（愛知、錬士五段、25） 第3位 川添 哲夫（高知、四段、23）	第22回大会 （昭和49年12月8日、日本武道館） 優勝 横尾 英治（和歌山、五段、24） 第2位 稲吉 正道（愛知、錬士五段、26） 第3位 野崎 義昭（愛知、五段、26） 第3位 明石 和巳（岩手、五段、27）
第23回大会 （昭和50年12月7日、日本武道館） 優勝 川添 哲夫（高知、五段、25） 第2位 宮澤 保信（宮城、四段、23） 第3位 明石 和巳（岩手、錬士五段、28） 第3位 横尾 英治（和歌山、五段、25）	第24回大会 （昭和51年12月5日、日本武道館） 優勝 右田幸次郎（熊本、四段、23） 第2位 佐山 春夫（栃木、錬士六段、28） 第3位 横尾 英治（和歌山、五段、26） 第3位 川添 哲夫（高知、五段、26）
第25回大会 （昭和52年12月11日、日本武道館） 優勝 小川 功（大阪、教士七段、34） 第2位 末野 栄二（鹿児島、錬士六段、28） 第3位 右田幸次郎（熊本、四段、24） 第3位 梯 正治（東京、錬士六段、30）	第26回大会 （昭和53年12月10日、日本武道館） 優勝 石橋 正久（福岡、五段、27） 第2位 西川 清紀（東京、四段、23） 第3位 香田 郡秀（茨城、四段、21） 第3位 山田 博徳（熊本、錬士六段、30）
第27回大会 （昭和54年12月9日、日本武道館） 優勝 末野 栄二（鹿児島、錬士六段、30） 第2位 古川 和男（北海道、五段、25） 第3位 山田 博徳（熊本、錬士七段、31） 第3位 川添 哲夫（高知、五段、29）	第28回大会 （昭和55年12月7日、日本武道館） 優勝 外山 光利（宮崎、五段、26） 第2位 山田 博徳（熊本、教士七段、32） 第3位 西川 清紀（東京、五段、25） 第3位 渡辺 三則（高知、錬士六段、33）
第29回大会 （昭和56年12月6日、日本武道館） 優勝 中田 琇士（東京、教士六段、34） 第2位 小坂 達明（大阪、錬士七段、33） 第3位 石塚 美文（大阪、錬士六段、30） 第3位 松田 勇人（奈良、五段、24）	第30回大会 （昭和57年11月3日、日本武道館） 優勝 石田 健一（大阪、錬士六段、33） 第2位 小坂 達明（大阪、教士七段、34） 第3位 三宅 一（神奈川、錬士六段、32） 第3位 氏家 道男（東京、錬士六段、30）
第31回大会 （昭和58年11月3日、日本武道館） 優勝 東 一良（愛知、錬士六段、33） 第2位 北村 浩二（熊本、錬士六段、31） 第3位 大久保和彦（神奈川、錬士六段、32） 第3位 福多 雅英（徳島、四段、24）	第32回大会 （昭和59年11月3日、日本武道館） 優勝 原田 哲夫（京都、錬士六段、31） 第2位 加治屋速人（埼玉、錬士六段、30） 第3位 安田 水紀（埼玉、錬士六段、35） 第3位 下島貴代一（岐阜、錬士六段、30）

第33回大会 (昭和60年11月3日、日本武道館) 優勝 石塚 美文 (大阪、錬士六段、34) 第2位 近藤 亘 (徳島、錬士六段、30) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、30) 第3位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、33)	第34回大会 (昭和61年11月3日、日本武道館) 優勝 岩堀 透 (大阪、教士七段、34) 第2位 亀井 徹 (熊本、錬士六段、32) 第3位 石塚 美文 (大阪、教士六段、35) 第3位 柏木 雄二 (鹿児島、錬士六段、33)
第35回大会 (昭和62年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士六段、32) 第2位 東 一良 (愛知、教士六段、37) 第3位 大城戸 功 (愛媛、錬士六段、32) 第3位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、33)	第36回大会 (昭和63年11月3日、日本武道館) 優勝 林 朗 (北海道、錬士六段、30) 第2位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、28) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、33) 第3位 福井 悦郎 (広島、錬士六段、33)
第37回大会 (平成元年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士七段、34) 第2位 伊藤 次男 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 栗田和市郎 (東京、錬士六段、33) 第3位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、29)	第38回大会 (平成2年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、六段、27) 第2位 白川 雅博 (東京、錬士六段、35) 第3位 進藤 正広 (秋田、錬士六段、33) 第3位 前原 正作 (鹿児島、錬士六段、36)
第39回大会 (平成3年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、28) 第2位 栄花 英幸 (北海道、五段、27) 第3位 石田 利也 (大阪、錬士六段、30) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、29)	第40回大会 (平成4年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、錬士六段、31) 第2位 石田 洋二 (大阪、五段、27) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、24) 第3位 高橋 英明 (京都、五段、27)
第41回大会 (平成5年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、30) 第2位 宮崎 史裕 (神奈川、六段、28) 第3位 出崎 忠幸 (東京、六段、30) 第3位 山中 洋介 (鳥取、錬士七段、33)	第42回大会 (平成6年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、教士七段、39) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、29) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、32) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、26)
第43回大会 (平成7年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、教士七段、34) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、30) 第3位 大澤 規男 (埼玉、教士七段、35) 第3位 寺地賢二郎 (東京、錬士六段、32)	第44回大会 (平成8年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士七段、33) 第2位 原田 悟 (東京、四段、23) 第3位 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、31) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、32)
第45回大会 (平成9年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、32) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、34) 第3位 栄花 直輝 (北海道、六段、30) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、33)	第46回大会 (平成10年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、35) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、32) 第3位 原田 悟 (東京、四段、25) 第3位 岩佐 英範 (東京、五段、28)
第47回大会 (平成11年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、36) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、33) 第3位 石原 一幸 (群馬、錬士六段、33) 第3位 佐藤 充伸 (宮城、五段、25)	第48回大会 (平成12年11月3日、日本武道館) 優勝 栄花 直輝 (北海道、錬士六段、33) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、37) 第3位 立花 義人 (福岡、四段、25) 第3位 原田 悟 (東京、五段、27)

第49回大会 (平成13年11月3日、日本武道館) 優勝 岩佐 英範 (東京、錬士六段、31) 第2位 佐藤 充伸 (宮城、五段、27) 第3位 佐藤 博光 (大阪、五段、28) 第3位 倉成 健治 (愛知、教士七段、39)	第50回大会 (平成14年11月2日・3日、日本武道館) 優勝 安藤 戒牛 (愛知、五段、29) 第2位 岩佐 英範 (東京、錬士六段、32) 第3位 小関 太郎 (東京、五段、26) 第3位 原田 悟 (東京、五段、29)
第51回大会 (平成15年11月3日、日本武道館) 優勝 近本 巧 (愛知、錬士六段、32) 第2位 安藤 戒牛 (愛知、五段、30) 第3位 深谷 仁 (東京、錬士六段、33) 第3位 田崎 智春 (福島、五段、29)	第52回大会 (平成16年11月3日、日本武道館) 優勝 鈴木 剛 (千葉、六段、32) 第2位 原田 悟 (東京、五段、31) 第3位 溝口 夏樹 (愛知、六段、31) 第3位 近本 巧 (愛知、錬士六段、33)
第53回大会 (平成17年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 悟 (東京、六段、32) 第2位 内村 良一 (東京、四段、25) 第3位 北条 将臣 (神奈川、六段、31) 第3位 上園 修 (鹿児島、錬士六段、34)	第54回大会 (平成18年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、26) 第2位 古澤 庸臣 (熊本、五段、28) 第3位 外山 浩規 (愛知、錬士六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、五段、30)
第55回大会 (平成19年11月3日、日本武道館) 優勝 寺本 将司 (大阪、六段、32) 第2位 高鍋 進 (神奈川、六段、31) 第3位 佐藤 博光 (大阪、錬士六段、34) 第3位 木和田大起 (大阪、五段、29)	第56回大会 (平成20年11月3日、日本武道館) 優勝 正代 賢司 (神奈川、五段、27) 第2位 若生 大輔 (北海道、六段、31) 第3位 有場 賢輔 (広島、五段、28) 第3位 米屋 勇一 (埼玉、六段、32)
第57回大会 (平成21年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、29) 第2位 高橋 秀人 (東京、五段、29) 第3位 寺本 将司 (大阪、錬士六段、34) 第3位 高坂 雄介 (静岡、四段、29)	第58回大会 (平成22年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、五段、30) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、23) 第3位 古川 耕輔 (大阪、六段、31)
第59回大会 (平成23年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、35) 第2位 東永 幸浩 (埼玉、錬士六段、34) 第3位 岩下 智久 (千葉、錬士六段、33) 第3位 内村 良一 (東京、六段、31)	第60回大会 (平成24年11月3日、日本武道館) 優勝 木和田大起 (大阪、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、錬士六段、32) 第3位 網代 忠勝 (兵庫、六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、36)
第61回大会 (平成25年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、錬士六段、33) 第2位 小谷 明德 (千葉、五段、29) 第3位 正代 正博 (東京、五段、29) 第3位 安藤 翔 (北海道、四段、23)	第62回大会 (平成26年11月3日、日本武道館) 優勝 竹ノ内佑也 (福岡、四段、21) 第2位 國友錬太郎 (福岡、四段、24) 第3位 西村 英久 (熊本、五段、25) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、27)
第63回大会 (平成27年11月3日、日本武道館) 優勝 西村 英久 (熊本、五段、26) 第2位 勝見 洋介 (神奈川、五段、29) 第3位 梅ヶ谷 翔 (福岡、三段、20) 第3位 竹下 洋平 (大分、五段、27)	第64回大会 (平成28年11月3日、日本武道館) 優勝 勝見 洋介 (神奈川、五段、30) 第2位 國友錬太郎 (福岡、五段、26) 第3位 地白 允大 (北海道、五段、29) 第3位 宮本 敬太 (茨城、四段、21)

第65回大会 （平成29年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、五段、28） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、37） 第3位 林田 匡平（福井、四段、23） 第3位 畠中 宏輔（東京、錬士六段、30）	第66回大会 （平成30年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、六段、29） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、38） 第3位 安藤 翔（北海道、五段、28） 第3位 竹下 洋平（大分、五段、30）
第67回大会 （令和元年11月3日、丸善インテックアリーナ大阪） 優勝 國友錬太郎（福岡、五段、29） 第2位 松崎賢士郎（茨城、四段、21） 第3位 前田 康喜（大阪、五段、26） 第3位 竹下 洋平（大分、六段、31）	第68回大会 （令和3年3月14日、ホワイトリング） 優勝 松崎賢士郎（茨城、四段、22） 第2位 村上 雷多（大阪、五段、31） 第3位 星子 啓太（鹿児島、四段、22） 第3位 林田 匡平（福井、五段、27）
第69回大会 （令和3年11月3日、日本武道館） 優勝 星子 啓太（鹿児島、四段、23） 第2位 林田 匡平（福井、五段、27） 第3位 山田 将也（愛知、四段、24） 第3位 村山 仁（神奈川、錬士六段、32）	第70回大会 （令和4年11月3日、日本武道館） 優勝 村上 哲彦（愛媛、五段、30） 第2位 安藤 翔（東京、六段、32） 第3位 矢野 貴之（東京、五段、26） 第3位 池田虎之介（福岡、四段、21）
第71回大会 （令和5年11月3日、日本武道館） 優勝 棗田 龍介（広島、四段、23） 第2位 松崎賢士郎（茨城、五段、25） 第3位 星子 啓太（東京、五段、25） 第3位 竹ノ内佑也（東京、六段、30）	第72回大会 （令和6年11月3日、日本武道館） 優勝 第2位 第3位 第3位

メ 七

全日本女子剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会 (昭和37年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝・柳沼 節子 (東京、五段、24) 第2位・中村 圭江 (東京、三段、19) 第3位・越田 浩子 (静岡、四段、21) 第3位・川口 一江 (愛知、三段、27)	第2回大会 (昭和38年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝・柳沼 節子 (東京、五段、25) 第2位・越田 浩子 (静岡、四段、22) 第3位・中村 圭江 (東京、三段、20) 第3位・高野 洋子 (神奈川、二段、20)
第3回大会 (昭和39年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (広島、二段、17) 第2位 井上千代子 (北海道、四段、38) 第3位 越田 浩子 (静岡、五段、23) 第3位 永吉ミヨコ (奈良、初段、17)	第4回大会 (昭和40年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (東京、三段、18) 第2位 田淵 和江 (岡山、二段、18) 第3位 佐藤 征代 (兵庫、二段、25) 第3位 井上千代子 (北海道、五段、39)
第5回大会 (昭和41年5月3日、神戸市中央体育館) 優勝 田淵 和江 (岡山、二段、19) 第2位 船越 弘美 (大分、三段、24) 第3位 高野 文江 (神奈川、二段、17) 第3位 松尾 和恵 (東京、三段、19)	第6回大会 (昭和42年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (東京、四段、20) 第2位 石本 妙子 (福井、二段、18) 第3位 木村 慶子 (新潟、二段、16) 第3位 佐藤 征代 (兵庫、三段、27)
第7回大会 (昭和43年5月3日、神戸市中央体育館) 優勝 田淵 和江 (岡山、三段、21) 第2位 中矢 美保 (愛媛、三段、19) 第3位 高野 文江 (神奈川、二段、19) 第3位 高橋 節子 (福島、三段、20)	第8回大会 (昭和44年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (熊本、二段、18) 第2位 高木 松枝 (静岡、三段、21) 第3位 古場美智子 (長崎、三段、21) 第3位 坂下 恵子 (鹿児島、三段、22)
第9回大会 (昭和45年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (東京、三段、19) 第2位 羽賀 幸子 (茨城、三段、18) 第3位 田淵 和江 (岡山、四段、23) 第3位 須藤 文子 (福岡、二段、18)	第10回大会 (昭和46年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (熊本、三段、20) 第2位 佐竹 千代 (高知、三段、20) 第3位 池田 百代 (岐阜、初段、16) 第3位 工藤十四子 (青森、三段、19)
第11回大会 (昭和47年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 高橋 政子 (東京、三段、19) 第2位 久米村加代子 (鹿児島、二段、17) 第3位 吉峰美智子 (熊本、三段、19) 第3位 小松 律子 (秋田、二段、17)	第12回大会 (昭和48年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (栃木、三段、18) 第2位 久米村加代子 (大阪、二段、18) 第3位 平川 潤子 (京都、二段、16) 第3位 満石 輝代 (岐阜、二段、16)
第13回大会 (昭和49年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (栃木、三段、19) 第2位 浜田ひで子 (三重、二段、19) 第3位 尼田 美保 (山口、二段、17) 第3位 平川 潤子 (京都、二段、17)	第14回大会 (昭和50年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 田中由美子 (大阪、三段、19) 第2位 吉峰美智子 (熊本、四段、22) 第3位 吉野都起子 (神奈川、四段、24) 第3位 根本 道世 (大阪、三段、20)
第15回大会 (昭和51年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (東京、三段、21) 第2位 武居ひろみ (山口、二段、18) 第3位 土屋 明美 (山形、二段、17) 第3位 渡辺みどり (徳島、三段、19)	第16回大会 (昭和52年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 根本 道世 (大阪、四段、22) 第2位 堀部あけみ (茨城、四段、20) 第3位 前田シン子 (群馬、五段、28) 第3位 足立 善子 (滋賀、三段、20)

第17回大会 (昭和53年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 根本 道世 (大阪、四段、23) 第2位 堀部あけみ (茨城、四段、21) 第3位 小松 律子 (神奈川、四段、23) 第3位 中川 真紀 (兵庫、三段、21)	第18回大会 (昭和54年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 小松 律子 (神奈川、四段、24) 第2位 長谷川美奈子 (新潟、二段、17) 第3位 矢野かなえ (東京、三段、20) 第3位 裏鍛 領湖 (北海道、三段、19)
第19回大会 (昭和55年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 矢野かなえ (東京、四段、21) 第2位 二ツ森礼子 (青森、三段、21) 第3位 藤田 弘美 (福岡、二段、17) 第3位 森田 瑞恵 (福岡、二段、20)	第20回大会 (昭和56年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 森田 瑞恵 (福岡、三段、21) 第2位 川添 永子 (高知、五段、30) 第3位 光浦 清美 (山口、三段、19) 第3位 二ツ森礼子 (青森、四段、22)
第21回大会 (昭和57年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 福之上里美 (鹿児島、二段、17) 第2位 大村 金子 (東京、四段、22) 第3位 上浦かなえ (東京、四段、23) 第3位 道園 郁代 (熊本、三段、20)	第22回大会 (昭和58年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 森田 瑞恵 (東京、三段、23) 第2位 川添 永子 (高知、五段、32) 第3位 都村 祐子 (香川、四段、20) 第3位 福之上里美 (東京、三段、18)
第23回大会 (昭和59年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 福之上里美 (東京、三段、19) 第2位 森田 瑞恵 (東京、三段、24) 第3位 河野 聡子 (大分、三段、20) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、二段、16)	第24回大会 (昭和60年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 三谷 菜智 (愛知、三段、20) 第2位 藤田 弘美 (茨城、四段、22) 第3位 平山 理恵 (熊本、二段、16) 第3位 花野 優子 (和歌山、二段、17)
第25回大会 (昭和61年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 佐竹みゆき (熊本、三段、18) 第2位 大堀真奈美 (鹿児島、三段、19) 第3位 福之上里美 (東京、四段、21) 第3位 柴田幸喜恵 (愛知、三段、21)	第26回大会 (昭和62年5月31日、守口市民体育館) 優勝 川俣真由美 (大阪、二段、17) 第2位 山崎 圭子 (千葉、三段、20) 第3位 福之上里美 (東京、四段、23) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、三段、19)
第27回大会 (昭和63年5月2日、大阪市中央体育館) 優勝 溝口 貴子 (宮崎、四段、20) 第2位 福之上真理子 (大阪、四段、20) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、三段、20) 第3位 岩瀬 留美 (愛知、三段、21)	第28回大会 (平成元年5月4日、大阪市中央体育館) 優勝 倉地富美恵 (東京、三段、21) 第2位 本多妃佐子 (長崎、初段、17) 第3位 北里 弥生 (熊本、三段、20) 第3位 堤 利恵 (大分、四段、20)
第29回大会 (平成2年9月9日、守口市民体育館) 優勝 近藤 洋子 (東京、四段、23) 第2位 川畑 百重 (大阪、二段、18) 第3位 倉地富美恵 (東京、四段、22) 第3位 牛木さつ子 (東京、五段、28)	第30回大会 (平成3年9月8日、守口市民体育館) 優勝 西 晴乃 (鹿児島、三段、19) 第2位 谷山百合香 (鹿児島、三段、19) 第3位 福之上真理子 (大阪、四段、23) 第3位 大村 恵理 (岡山、三段、17)
第31回大会 (平成4年9月13日、守口市民体育館) 優勝 鍋山 玲子 (福岡、二段、17) 第2位 谷山百合香 (鹿児島、三段、20) 第3位 山本 恵美 (東京、三段、21) 第3位 石井 真弓 (埼玉、二段、18)	第32回大会 (平成5年9月12日、守口市民体育館) 優勝 石田真理子 (大阪、五段、25) 第2位 川俣真由美 (神奈川、四段、23) 第3位 國村 裕子 (香川、四段、21) 第3位 鍋山 玲子 (福岡、三段、18)

第33回大会 (平成6年9月11日、守口市民体育館) 優勝 石田真理子 (大阪、五段、26) 第2位 西 晴乃 (鹿児島、四段、22) 第3位 高田 智子 (大阪、四段、22) 第3位 村山 千夏 (新潟、三段、20)	第34回大会 (平成7年9月10日、愛知県武道館) 優勝 川畑 百重 (東京、四段、23) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、三段、20) 第3位 高松 明美 (東京、三段、22) 第3位 東森 環 (岡山、四段、23)
第35回大会 (平成8年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 甲斐 敦子 (大阪、三段、19) 第2位 川畑 百重 (東京、四段、24) 第3位 大塚真由美 (大阪、四段、24) 第3位 柿原 未砂 (和歌山、三段、20)	第36回大会 (平成9年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 大塚真由美 (神奈川、五段、28) 第2位 村山 千夏 (新潟、三段、23) 第3位 木村 美姫 (奈良、四段、25) 第3位 根本麻弥子 (千葉、五段、26)
第37回大会 (平成10年9月13日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 大塚真由美 (神奈川、五段、29) 第2位 河野 朋子 (福岡、三段、21) 第3位 永尾 恒美 (大阪、四段、24) 第3位 福田美佐子 (長崎、四段、24)	第38回大会 (平成11年9月12日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 朝比奈静香 (東京、四段、24) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、四段、24) 第3位 谷山百合香 (京都、五段、28) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、三段、19)
第39回大会 (平成12年9月3日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 朝比奈静香 (東京、四段、25) 第2位 永尾 恒美 (大阪、五段、26) 第3位 馬場 恵子 (大阪、四段、22) 第3位 田中百合香 (京都、五段、29)	第40回大会 (平成13年9月2日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 堀口 恭子 (山梨、四段、24) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、四段、26) 第3位 黒岩 直美 (福岡、五段、28) 第3位 福田美佐子 (長崎、四段、27)
第41回大会 (平成14年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 坪田 祐佳 (岡山、四段、22) 第2位 有島 佳代 (鹿児島、五段、27) 第3位 岡田 圭 (熊本、三段、22) 第3位 萩原 寿里 (大阪、四段、23)	第42回大会 (平成15年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 緒方 有希 (熊本、四段、24) 第2位 朝比奈静香 (東京、五段、28) 第3位 興梠 舞 (茨城、三段、22) 第3位 田中百合香 (京都、六段、32)
第43回大会 (平成16年9月5日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 岡田 圭 (熊本、四段、24) 第2位 新里知佳野 (沖縄、四段、22) 第3位 島村 百重 (東京、五段、32) 第3位 久木山満美 (東京、五段、28)	第44回大会 (平成17年9月4日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、五段、31) 第2位 緒方 有希 (熊本、五段、26) 第3位 宮川瑠璃子 (茨城、三段、21) 第3位 恩田 望 (静岡、三段、19)
第45回大会 (平成18年9月3日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、五段、32) 第2位 緒方 有希 (熊本、五段、27) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、26) 第3位 内田さくら (静岡、五段、28)	第46回大会 (平成19年9月2日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、六段、33) 第2位 内田さくら (静岡、五段、29) 第3位 鈴木 愛梨 (山形、三段、20) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、27)
第47回大会 (平成20年9月7日、静岡県武道館) 優勝 坪田 祐佳 (岡山、五段、28) 第2位 村山 千夏 (埼玉、六段、34) 第3位 福田美佐子 (長崎、錬士六段、34) 第3位 片渕 美和 (大阪、四段、23)	第48回大会 (平成21年9月27日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、錬士六段、35) 第2位 庄島 幸恵 (東京、錬士六段、33) 第3位 新里知佳野 (新潟、五段、27) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、29)

<p>第49回大会 (平成22年9月26日、静岡県武道館)</p> <p>優勝 石突小百合 (東京、五段、25)</p> <p>第2位 鷹見由紀子 (千葉、四段、25)</p> <p>第3位 山下久美子 (東京、五段、27)</p> <p>第3位 川越 愛 (兵庫、四段、24)</p>	<p>第50回大会 (平成23年9月25日、兵庫県立武道館)</p> <p>優勝 村山 千夏 (埼玉、錬士六段、37)</p> <p>第2位 正代小百合 (東京、五段、26)</p> <p>第3位 黒河 香菜 (広島、四段、24)</p> <p>第3位 荒井 貴子 (埼玉、五段、28)</p>
<p>第51回大会 (平成24年9月2日、兵庫県立武道館)</p> <p>優勝 山本真理子 (大阪、四段、24)</p> <p>第2位 内田 舞 (熊本、三段、31)</p> <p>第3位 山口 美紀 (神奈川、四段、22)</p> <p>第3位 宮川瑠璃子 (山口、五段、28)</p>	<p>第52回大会 (平成25年9月8日、兵庫県立武道館)</p> <p>優勝 山本真理子 (大阪、五段、25)</p> <p>第2位 竹村奈緒美 (岐阜、四段、24)</p> <p>第3位 小津野祐佳 (岡山、錬士六段、33)</p> <p>第3位 石塚 芳 (大阪、四段、25)</p>
<p>第53回大会 (平成26年9月7日、兵庫県立武道館)</p> <p>優勝 田山 秋恵 (大阪、五段、25)</p> <p>第2位 松本 弥月 (福岡、四段、22)</p> <p>第3位 梅村 友絵 (東京、五段、28)</p> <p>第3位 山本真理子 (大阪、五段、26)</p>	<p>第54回大会 (平成27年9月13日、兵庫県立武道館)</p> <p>優勝 松本 弥月 (神奈川、四段、23)</p> <p>第2位 田山 秋恵 (大阪、五段、26)</p> <p>第3位 山本真理子 (大阪、五段、27)</p> <p>第3位 鷹見由紀子 (千葉、五段、30)</p>
<p>第55回大会 (平成28年9月11日、ホワイトリング)</p> <p>優勝 正代小百合 (東京、六段、31)</p> <p>第2位 大西ななみ (福岡、四段、21)</p> <p>第3位 山本真理子 (大阪、五段、28)</p> <p>第3位 松本 弥月 (神奈川、四段、24)</p>	<p>第56回大会 (平成29年9月24日、ホワイトリング)</p> <p>優勝 高橋 萌子 (神奈川、四段、24)</p> <p>第2位 興梠 舞 (宮崎、四段、36)</p> <p>第3位 山本真理子 (大阪、五段、29)</p> <p>第3位 渡邊 タイ (熊本、四段、25)</p>
<p>第57回大会 (平成30年9月23日、ホワイトリング)</p> <p>優勝 高橋 萌子 (神奈川、四段、25)</p> <p>第2位 佐藤みのり (福島、四段、21)</p> <p>第3位 松本 智香 (福岡、四段、22)</p> <p>第3位 大西ななみ (福井、四段、23)</p>	<p>第58回大会 (令和元年9月8日、ホワイトリング)</p> <p>優勝 松本 弥月 (神奈川、五段、27)</p> <p>第2位 山本真理子 (大阪、六段、31)</p> <p>第3位 渡邊 タイ (熊本、五段、27)</p> <p>第3位 竹中 美帆 (茨城、四段、22)</p>
<p>第59回大会 (令和3年3月14日、ホワイトリング)</p> <p>優勝 諸岡 温子 (東京、三段、20)</p> <p>第2位 山崎 里奈 (宮崎、四段、21)</p> <p>第3位 竹中 美帆 (栃木、四段、23)</p> <p>第3位 小松 加奈 (青森、四段、22)</p>	<p>第60回大会 (令和3年9月19日、ジェイテクトアリーナ奈良)</p> <p>優勝 妹尾 舞香 (福岡、四段、21)</p> <p>第2位 志藤 綾子 (埼玉、五段、29)</p> <p>第3位 川合 芳奈 (静岡、三段、19)</p> <p>第3位 東堅 嘉怜 (和歌山、三段、20)</p>
<p>第61回大会 (令和4年9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良)</p> <p>優勝 末永 真理 (和歌山、錬六、34)</p> <p>第2位 妹尾 舞香 (福岡、四段、22)</p> <p>第3位 村田 桃子 (福岡、四段、24)</p> <p>第3位 阿部 美洸 (東京、五段、29)</p>	<p>第62回大会 (令和5年9月3日、ジェイテクトアリーナ奈良)</p> <p>優勝 渡邊 タイ (熊本、六段、31)</p> <p>第2位 妹尾 舞香 (福岡、四段、23)</p> <p>第3位 横山 万優 (大阪、四段、26)</p> <p>第3位 近藤 美洸 (東京、六段、30)</p>
<p>第63回大会 (令和6年11月3日、日本武道館)</p> <p>優勝</p> <p>第2位</p> <p>第3位</p> <p>第3位</p>	

全剣連発行の頒布物一覧

令和6年11月

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥500	55	3
杖道試合・審判規則	¥500	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
剣道人バッジ(ネジ・タック)	各¥1,800	13	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ)	¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,500	58	16
女子審判用ネクタイ	¥2,000	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄)	各¥600	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししラバーキーホルダー	¥800	19	5
ぶししポロシャツ ネイビー(S・M・L・XL)	各¥2,500	226	20
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210
設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28

* 品物はすべて消費税込みとなります。

* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料(送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅配便……送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便……(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

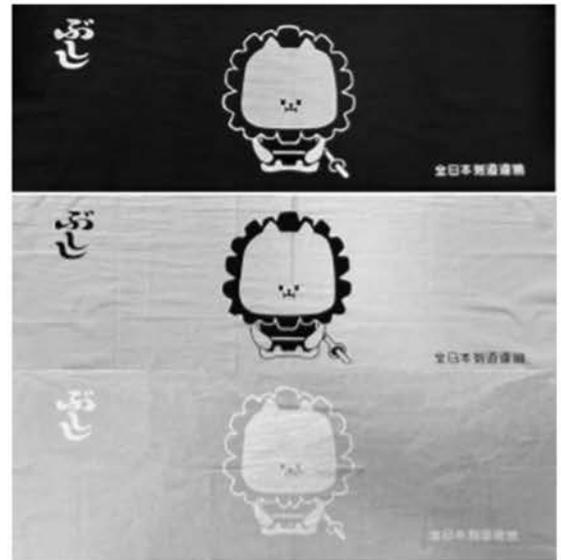
本日、日本武道館西口売店にて ぶししグッズ発売中！



ステッカーシート



ラバーキーホルダー



手ぬぐい (紺・白・黄)



ポロシャツ



クリアファイル



ぬいぐるみ

ぶししぬいぐるみも 50個限定で販売します！

数に限りがあるので
お早めに！



全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和6年8月21日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3	日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長 網代 忠宏	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14	靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地		電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1	北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663・(820)1662・1663
青森県	三上 順一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6		017(787)2485・(787)2485
秋田県	小松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10		018(838)1783・(845)3255
山形県	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28		023(625)4825・(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0133	盛岡市青山4-13-30	(公財)岩手県体育協会会館内	019(645)2220・(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1		022(746)8461・(746)8462
福島県	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23	サラダハウスA101号	024(597)8218・(597)8218
(一財)茨城県	水田 重則	310-0903	水戸市堀町1161-13		029(251)8811・(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6	栃木県教育会館2階	028(624)4567・(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12		027(235)0870・(235)0870
(公財)埼玉県	栗原 憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5	浦和合同庁舎4階	048(834)8869・(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2		03(5405)2166・(5405)3680
(一財)千葉県	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20		043(285)4331・(285)4333
神奈川県	幸野 實	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1	相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・(321)6176
山梨県	山本 洋一	409-3804	中央市井之口150-2		055(278)6162・(278)6163
(一財)新潟県	荻荘 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21	北陽ビル2階	025(384)4784・(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3	KSハイッ205号	076(253)0310・(253)0341
(一財)富山県	大門 進	939-8076	富山市太郎丸2-77	伊勢税理士事務所内	076(492)4040・(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18	サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・(28)6616
(一財)長野県	二木むつみ	380-0844	長野市諏訪町503		026(237)8939・(235)8266
(一社)静岡県	二橋 高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355		054(263)5428・(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22		052(481)0093・(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12	岐阜県水産会館611	058(274)1521・(274)8949
三重県	中森 博文	514-0007	津市大谷町152	大谷ハイム1-202号	059(226)5975・(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20	辻田ビル2階	077(514)3165・(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19		075(761)8288・(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1	若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14	不動ビル505号	0742(32)5008・(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2		073(432)7760・(432)7759
(公財)兵庫県	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8	虹ヶ池ハイッ201号	078(861)5145・(802)5240
(一財)岡山県	藤田 長久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1		086(235)3255・(235)3245
(一財)広島県	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5		082(962)3076・(962)3087
(一財)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1	警察体育館別館内	083(932)5072・(932)5073
(一財)鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216	瀧本ビル3階	0857(29)2668・(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1	鬼村純方	0852(27)6222・0852(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6	アラキビル2階南	087(880)4463・(880)4467
(一社)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28	福泉ビル205号	089(941)9394・(941)3013
高知県	渡邊 三則	781-5102	高知市大津甲2009-34		090-1009-6857
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6	栗本マンション106号	088(652)2337・(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1	福岡武道館内	092(712)1890・(712)1891
(一社)佐賀県	川上 春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11	佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・(20)9888
(一財)長崎県	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34	トーカンマンション1-E	095(826)5220・(826)5220
(一財)大分県	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76	第2ハルキコーポ101号	097(547)9980・(547)9981
(一財)熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2	熊本武道館内	096(381)8998・(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4		0985(62)3890・(62)3893
鹿児島県	野村 良三	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	県立武道館内	099(255)8778・(255)8778
(一財)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2	沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・(996)4616

日本武道館発行 雑誌・書籍のご案内

心 技 体 MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO" 人を育てる総合誌

月刊

武道

教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

毎月28日発行 定価556円(税込) 年間購読6,666円(税・送料込)



好評連載中

私の修行時代

各道の先生方の修行時代について、師の教え、修行時代に心掛けたこと、信条等を紹介。

2024年9月号では真砂威全日本剣道連盟副会長が執筆。

武道人の肖像

……たかはしじゅんいち

武道精神で社会を切り開く

……千正康裕

今月のニュース



第72回全日本剣道選手権大会は12月号に掲載予定(写真2023年) 各種武道大会の様子をニュースとしてお届け! 剣道大会の記事も年間を通じて豊富に掲載。

日本武道館発行の単行本



剣道 その歴史と技法

埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著

戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を紹介。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で、改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、月刊「武道」での連載終了後5年の時を経てついに単行本化。

四六判・上製・576頁・定価2,640円

剣道の文化誌 — 剣術・撃剣・剣道、その文化としての成り立ち —

明治大学教授・剣道範士八段 長尾進 著

剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながらわかりやすく紹介。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。

四六判・上製・480頁・定価2,640円



編集・発行 公益財団法人日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <https://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03-3216-5147
FAX03-3216-5158

日本武道館研修センター

耐震補強工事平成13年実施

日本武道館研修センターは、一年を通して過ごしやすい気候の千葉県勝浦市にある、公益財団法人日本武道館の直営施設です。武道や書道を修練する人たちをはじめ、広く一般の皆様にもご利用いただける宿泊・研修施設です。

当施設は、大道場、研修室、弓道場、及び宿泊棟の全館冷暖房、フリーWi-Fi完備と研修・合宿などに十分なスペースと環境を備えた最適な施設です。

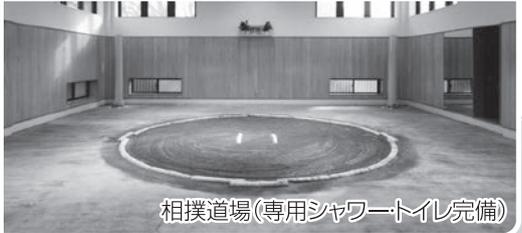
また、耐震補強工事も平成13年に宿泊棟、令和2年には道場棟を実施済みであり、高台（海拔44メートル）に位置していることから、災害時の避難場所として勝浦市が指定する安全な施設でもあります。



大道場…1000畳の広さ(分割使用可)冷暖房完備



弓道場…9人立ち、冷暖房、巻藁室、男女トイレ完備



相撲道場(専用シャワートイレ完備)

宿泊料金

● 武道を目的とした宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,040円	6,490円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,710円	6,270円

● 武道目的以外の宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,370円	6,930円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,820円	6,600円

表示料金は税込

・未就学児の室料は無料です。
 ・食事はビュッフェ形式。昼食料金…990円
 ・宿泊利用での施設使用料は無料です。ただし、宿泊を伴わない場合は別途使用料金を頂きます。

● お問い合わせ・ご予約・お申し込み先は…

日本武道館研修センターまで
 〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉582
 TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819
 日本武道館ホームページ又はGoogleマップで館内の施設が確認できます。

日本武道館研修センター





国際武道大学

《体育学部》

◆ 武道学科

- ・ 武道専修コース（全7コース）
柔道・剣道・弓道・
空手道・なぎなた・
少林寺拳法・合気道
- ・ 武道教育コース
- ・ 武道マネジメントコース

◆ 体育学科

- ・ アスリートコース
- ・ コーチング科学コース
- ・ スポーツマネジメントコース
- ・ スポーツトレーナーコース
- ・ 健康科学コース
- ・ スポーツ教育コース

オープンキャンパス（要予約）

対面型 12/7（土）



お問い合わせ先 入試・広報センター

所在地：千葉県勝浦市新官 8 4 1
☎：0470-73-4144
Eメール：n-center@budo-u.ac.jp

真摯に求めたい「剣道の価値」

月刊

剣道日本

the KENDO-NIPPON monthly

毎月
25日発売



好評連載

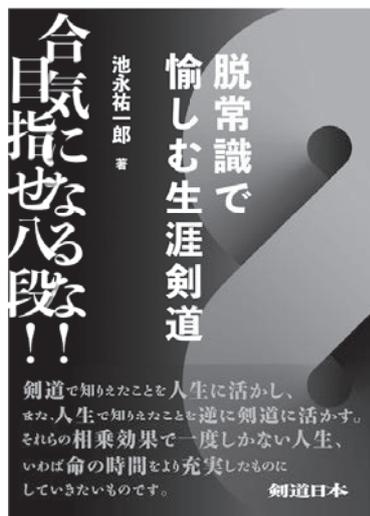
脱力剣道の魅力 玉野輝男 (物理学博士)

敗者はいない 馬場欽司

強豪選手の必勝技「ツワモノ」に学べ！

剣道女子 / 名手が選んだ剣道具 / 剣道とコンディショニング

剣道日本新刊



脱常識で愉しむ生涯剣道

合気になるな！目指せ八段！

著者 池永祐一郎

- 第一章 好きこそものの上手なれ
- 第二章 常識と非常識のはざままで
- 第三章 一刀流をやって八段になろう！
- 第四章 潜在意識のクセを暴いて高次の剣道世界へ
- 第五章 目標達成のための基礎知識
- 第六章 範士五人の言葉 昇段の極意がこの中にある！

池永祐一郎 著 A5判 320ページ

定価2,970円 (税込・本体価格2,700円)



行者の記録

——未来に伝え残したい剣道修行者たちの哲学——

著者 蓑輪 勝

- 第1話 佐藤卯吉先生は「目指すのは、剣道屋でなく剣道家がいい」と言った
- 第2話 日本剣道形のこころを説いた、剣徳高き佐藤卯吉先生
- 第3話 望月正房先生は、修行を経て“わざ師”となった
- 第4話 昭和四年の天覧試合と、若き望月先生の十七人抜き (全25話)

対談 かつて野間道場では (語り手 / 野尻忠克)

蓑輪 勝 著 四六判 232ページ

定価2,420円 (税込・本体価格2,200円)

さらに剣道を深く知りたいなら剣道日本刊行書籍で！▶

通販サイトには剣道関連書籍を多数取り扱っております
※雑誌以外は一般書店では購入できません。



株式会社剣道日本

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目5-14 WISE NEXT 新横浜503号室
TEL 045-534-8573 FAX 045-534-8399 E-mail post@kendo-nippon.co.jp https://kendo-nippon.co.jp

おかげさまで創刊50周年

剣を学び、道を学ぶ。剣道時代は「読む」剣道である

稽古で強くなりたかったら剣道時代。
 試合で勝ちたかったら剣道時代。
 昇段審査で合格したいなら剣道時代。
 そして、剣道を人生の糧としたかったら剣道時代。
 あなたの剣道時代は読む剣道です。

これからも
 剣道の普及と発展のために
 がんばります。
 毎月25日発売／定価980円(税込)
 年間購読料=11,760円



昨年の大会より

剣道時代の本

全日本剣道選手権者の稽古

高鍋進・寺本将司・原田悟・近本巧



これが日本一になった剣士の稽古だ
 全日本剣道選手権大会優勝をはじめ
 各種大会で栄冠を手にした
 4人の剣士が実践する稽古法を完全収録

B5版 146ページ 定価 1,980円
 ISBN 978-4-88458-295-1



最新号 12月号 定価980円(税込)

特集 必修課題 出ばな技を習得せよ

特別企画

子どもが夢中になる初心者指導(後編)

特別インタビュー

二木むつみ(長野県剣道連盟会長)

特報 全日本東西対抗香川大会

定期購読のすすめ

書店に買いに行く暇がない忙しいあなたには定期購読がおすすめです。定期購読のお申し込みをすると、あなたのお手元に毎月お届けします。しかも特別定価の差額、送料は当社負担(国内)ですから、お得です。

定期購読料 1年間=11,760円

お申し込み方法

①銀行口座振替、②本誌トジ込みの「振替用紙」を使う、③郵便局にある「振替取扱票」を使う、④現金書留(現金書留用封筒をお使いください)

以上いずれかの方法でお申し込みください。なお、①の場合は電話・FAX・Eメールにて「〇年〇月より定期購読」と明記してお申し込みください。のちほど口座振替依頼書を送付し、ご指定の口座から引き落としをいたします。②の場合は所定事項を記入して、③④の場合も必ずあなたの住所、氏名、年齢、性別、電話番号、そして「〇年〇月号から1年分を希望」と、通信欄または紙に書いて下さい。

口座番号=00100・7・25587
 加入者名=株式会社体育とスポーツ出版社

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 3F

編集部 電話 03(6265)6554 FAX 03(6265)6553
 営業部 電話 03(3291)0911 FAX 03(3293)7750

E-mail eigyobu-taiiku-sports@thinkgroup.co.jp http://www.taiiku-sports.co.jp

郵便振替口座 東京00100-7-25587

(株)体育とスポーツ出版社

phiten

ナノメタックスコーティング



ナノメタックスコーティングとは、カラダをリラックス状態へとサポートするファイテン最高峰技術「ナノメタックス」に光テクノロジー「健光浴®」を照射させて、霧状に噴霧コーティングする水煙加工を用いたファイテンの最先端技術です。

<https://www.phiten.com/>

静寂な覚醒
轟く気と剣

誕生「天空号」を冠する防具。



「本商品はファイテン社の独自技術を取り入れたコラボレーション商品です」

phiten



3冊

株式会社 **松興堂**

Phiten TENKU-GO

●ファイテン 天空号剣道具
6mmミシン十字菱刺 胴台：①黒石目 ②溜石目 ③紫石目より

NO.10

品番		本体価格
F101	面 軽合金面金 / アゴ人工紺革・ナナメ四段ナマコ手飾り / ヘリ人工紺革・ナナメ十字菱刺 / 袋仕立	65,000円+ (税)
F102	胴 ①黒石目 / 濃紺ナナメ総刺 / 翼飾 二重持出付返しベリ仕立	40,000円+ (税)
F103	甲手 ヘリ人工紺革 / 手の内茶ウルトラスエード仕立	45,000円+ (税)
F104	垂 ナナメ十字菱刺 / 五段ナマコ手飾り / ヘリ人工紺革 / スミ雲入仕立	40,000円+ (税)
F100S	合計1組価格	192,000円+ (税)

3冊

株式会社 **松興堂**

渋谷店ショールーム
東京都渋谷区道玄坂 2-17-3
Tel.03-3463-0471

<http://www.shokodo.com/>

刻、百年。

日本橋、

森武道具。

堅く柔らかく

相容れる技

進化する防具

生み出される姿

変わらないカタチ

創業大正二年

旺山作 捷号



静心

東京 $\leftarrow M \rightarrow$ 日本橋

森 武道具株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6番12号 電話 03(3661)0469(代) FAX 03(3661)0059

<http://www.moribudo.co.jp>



TEL : 072-773-0524
FAX : 072-773-1165

営業時間 / 10:00 ~ 19:00
定休日 / 毎週火曜日、1/1
※都合により、営業日・営業時間は
変更となる場合がございます。

長寿蔵 オンラインショップ
<http://choujugura.com/>

1.8ℓ瓶詰
(化粧箱のご用意あり)



KONISHI

小西酒造株式会社

創業1550年 小西酒造ホームページ
<http://www.konishi.co.jp/>
お客様相談室: 072-782-5251
(土、日、祝日を除く9時~17時)



飲酒は20歳になってから。
お酒は、おいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、
胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

本醸造



日本遺産

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

伊丹 諸白
いたみもろはく

超特撰 白雪



小西酒造は、伊丹の地で
四七〇年にわたり
酒造りを続ける蔵元です



純米・本醸造部門
プラチナ受賞

七二〇cc瓶詰

超特撰 白雪 伊丹諸白本醸造 アルコール度数: 15度以上 16度未満



KENBU-DO
人と武道の明日を考える

豊富な品揃え

建武堂では都内有数の広い売り場スペースに各種商品を豊富に展示しております。是非一度御来店下さい。

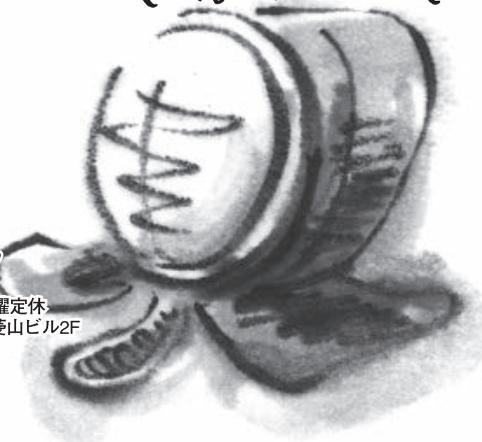
アフターフォロー万全

あなたにあった道具のカウンセリングからアフターフォローまでをサポートいたします。

株式会社 建武堂

営業時間AM10:00~PM7:00
(日曜・祭日はPM6:00まで) 毎週月曜定休
〒170-0013東京都豊島区東池袋1-15-1菱山ビル2F
TEL 03-3971-4840(代)
FAX 03-3971-4461
URL: <http://www.kenbu-do.co.jp/>
e-mail: information@kenbu-do.co.jp

ここまで使って
もうえると
ほんとに嬉しい
建武堂に帰れば
いくら寝れても
また戦える



道場の黒い靴

輝いた自分へ贈り物を。

<https://koyoshoji.biz/>

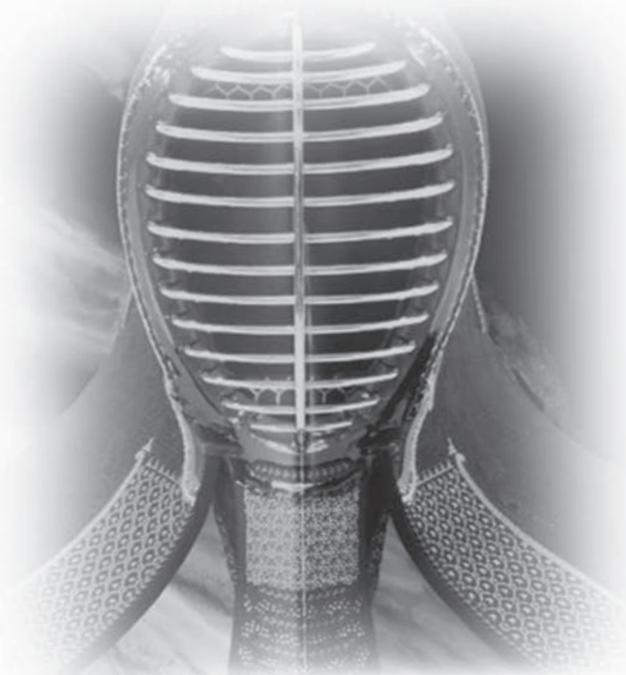
大会記念品及び
日本武道館オフィシャルグッズ、
そして、お弁当・飲み物などの
飲食料品まで幅広く
取り扱っておりますので、
お気軽にお問合せください。



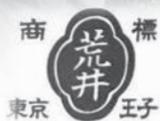
日本武道館常設売店
株式会社 **光洋商事**

神奈川県大和市中央林間 1-10-19
TEL 046-278-2288 FAX 046-272-5822

Instagram で日本武道館オフィシャルグッズ及び
剣道関連商品の情報を投稿しておりますので
是非フォローよろしく
お願いいたします！



伝統の技術を守り
よりよい武道具の
ご提供を目指しております。
又、修理、お手入れ等先々の
メンテナンスも一級の技術にて
お応えしております。



株式会社

アライ武道具

東京都北区王子2丁目28番10号
TEL 03(3911)8694 (月曜日定休)
FAX 03(3911)8545
<http://www.budogu-arai.com>

祝 第72回全日本剣道選手権大会



天

Ten

選ばれ続けてきた必然



峰
MINE KINSEI
謹製

● 日本製
最高級ミシン刺剣道具



武道用品の総合メーカー

株式会社三ツボシ

事業本部：TEL 077-535-9136

www.mitsuboshi-budo.co.jp

〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘 10-26

制覇

PRO シリーズ

フィット感、軽さ、柔らかさを追求!!

現代剣道の為に作られた、理想の剣道具です。形状・素材にはすべて理由があります。
体と一体化したストレスのないフィット感は剣道家が追い求めている究極のスタイル。それを実現。
すべての剣道家に満足していただける剣道具だと自負しております。
激しい稽古にも良し、少しの妥協も許さない試合用にも最適です。

制覇
SEIHA

株式会社 城西 JOSAI
会 社 武 道 具



@JOSAIUDOGU

〒263-0015

千葉市稲毛区作草部1-4-8

【定休日】火曜・第一月曜

TEL：043-285-3876

FAX：043-285-3771

プリ・テック株式会社

❖ 本社

〒445-0811 愛知県西尾市道光寺町山田1番1
TEL.0563-55-0707 FAX.0563-55-0202

❖ 名古屋支店

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番10号
TEL.052-588-5822 FAX.052-588-5931

❖ 東京支店

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-16
TEL.03-5800-8961 FAX.03-5800-4430

プリ・テックグループ

❖ 半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-21
TEL.0569-29-2525 FAX.0569-29-4500

❖ トーヨー印刷株式会社

〒507-0065 岐阜県多治見市根本町12-144
TEL.0572-29-3346 FAX.0572-29-3772

❖ プリテックメディア株式会社

〒445-0815 愛知県西尾市菅原町258
TEL.0563-55-0700 FAX.0563-55-0701

❖ 有限会社プリテックジャパン

〒475-0024 愛知県半田市亀崎高根町3丁目
105番地の13 TEL.0569-20-1020



プリ・テックグループは全ての事業所で
プライバシーマークを取得しています。

www.pritech.co.jp

P.T.C.
GROUP

マーケティング・プランニング・デザイン・DTPから
印刷・仕上げまで、トータルにサポートいたします。

まず、気づくことが
ご提案の第一歩です。

メ モ



清潔・キレイ・カッコいい!

剣士がいるクリーニング店から、提案です。

剣道防具 を洗う

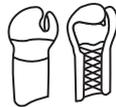
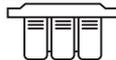
洗うべき、
というのが
ホンネです。



剣道防具クリーニング+染めリメイク専門

全国展開キャンペーン

※手刺・ミシン刺・子ども・大人でも一律料金です。

	品目	安心価格
 面	クリーニング	2,750円
	藍染めリメイク	2,200円
	面縁リメイク 黒塗り・朱塗り	2,200円
 小手	クリーニング(1組)	2,750円
	クリーニング(銃剣道片手)	1,380円
	藍染めリメイク(1組)	2,200円
	藍染めリメイク(銃剣道片手)	1,100円
 垂	クリーニング	2,750円
	藍染めリメイク	2,200円
 胴	クリーニング	1,650円
	磨きコーティング	1,800円

	品目	安心価格
 道着  袴	剣道着アスリートクリーニング	2,200円
	剣道袴アスリートクリーニング	3,850円



クーポンコード
『剣洗なかよし』

※当社からお客様のもとへ返送する際の送料は、全国一律1,100円です。



防具クリーニング
武蔵坊 **剣洗**

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-5-6
TEL/0120-439-229 FAX/0422-60-2948
HP <http://bougu-kensen.com/>

お支払いは、Amazon Pay・カード決済orお振込・代金引換がご利用頂けます。

詳しくはホームページへ
パソコン、スマートフォンにてご注文承ります。

武蔵坊剣洗

検索



Instagram



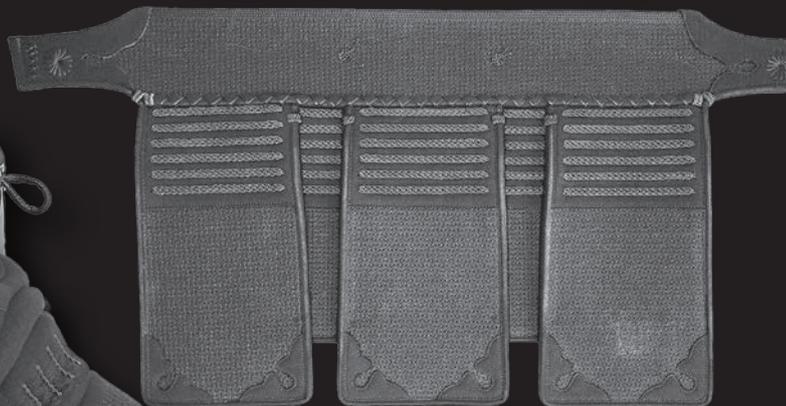
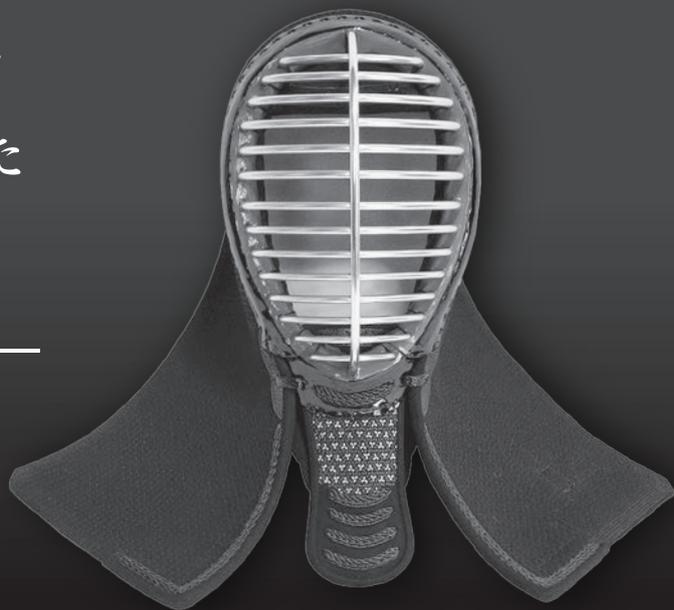
Facebook

ページあります。

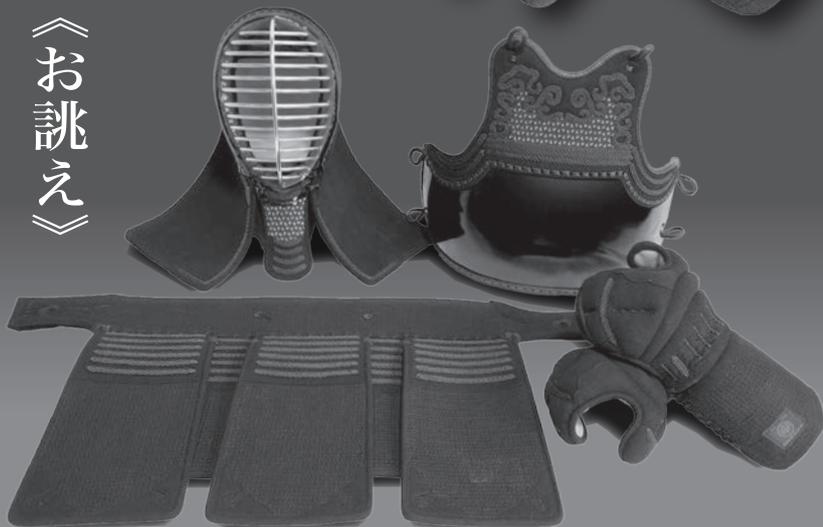
剣洗って?

昭和の良き伝統を受け継ぎ
埼玉県 朝霞の地で生まれた
国産高級剣道具

— 霞流剣道具 —



《お誂え》



国産 霞流剣道具

霞流 成山

高級国産剣道具 霞流の中では一番お求めやすいセットです。初めてのお誂え防具としてもおすすめ致します。

▼霞流 成山(せいざん)仕様の一例
面 : 織刺仕立、IBBジュラルミン面金、ピロード内輪
胴 : 50本型強化樹脂胴、2本足
甲手 : 霞流くの字甲手、織刺、手の内クスベ革
垂 : 4段飾、腹革1枚、垂紐止め選択可能

280,000円(込)から

アゴ・胸デザインを始め仕様は全てお客様のご希望通りにお作りします。どうぞお気軽にご相談ください。

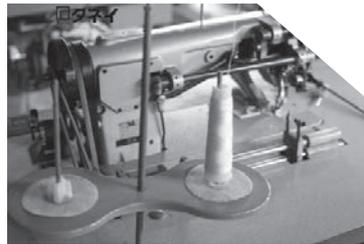
霞流剣道具製造元
中古防具買取販売
(古物商許可取得店)

霞流剣道具製造元
(株) 福田武道具

電話: 048-465-5771(代) / モバイル: 080-5880-5771
〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-6-43
営業時間: 10時~19時 (月は17時まで、土日祝は18時まで)
火曜日・第1月曜日定休 / 東武東上線「朝霞」下車徒歩4分



剣道具選



【HP】

<https://kendopark.jp/>



【FB】

<https://www.facebook.com/kendopark07/>



代表 永松 謙使

E-mail: info@kendopark.jp

びに、

革命



KENDO PARK

剣道具専門

通販セレクトショップ

- ✓ 全国の店舗と提携
老舗から新興店まで、20店舗以上と提携!
- ✓ 豊富な商品ラインナップ
良品のみを良心価格で提供!
- ✓ 最新剣道情報が満載
剣道を楽しむための記事メディア Kenjoy!

を
起
こ
せ
。

祝 第72回 全日本剣道選手権大会
第63回 全日本女子剣道選手権大会



松 勤

活人
KATSU
JIN

勤 松勤工業株式会社

〒347-0056 埼玉県加須市土手1-4-27
TEL.0480-61-2211(代) FAX.0480-61-2044
URL:<http://www.matsukan.jp> E-mail:info@matsukan.jp



警視庁

警察官採用

「水かを守り、
生き方がある。」



令和6年度 第3回 男性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]・女性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]

第1次試験日: 令和7年1月12日(日)

申込受付期間: 11月29日(金)午前9時~12月10日(火)午後5時

※インターネット申込みのみ

◇ 採用試験では、皆さんがお持ちの武道の段位やスポーツ大会の出場経歴など、その内容を評定し、成績の一部としています。

◇ 詳細は、警視庁採用サイトをご確認ください。



警視庁採用センター

☎0120-314-372 TEL:03-3581-4321(代表)

採用
サイト



LINE



採用
パンフレット



SPACES
MOMENTS
INSPIRATION

空間に、
瞬間に、
感動を。

世界でひとつの空間を創り、

一生心に残る瞬間を紡ぎ、新たな感動を生み出していく。

私たちムラヤマは、空間とコミュニケーションづくりの

プロフェッショナルです。

〒135-0061

東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア

TEL:03-6221-0808(代表)



www.murayama.co.jp

 株式会社 **ムラヤマ**



寄り添い 社会を守る

刑務官募集

刑務官とは

刑務官は、刑務所、少年刑務所又は拘置所に勤務します。

刑務所、少年刑務所又は拘置所に勤務し、被収容者に対し、日常生活の指導、職業訓練指導、悩みごとに対する指導などを行うとともに、刑務所等の保安警備の任に当たります。



人事院・法務省
<https://www.moj.go.jp/>



全剣連アンチ・ドーピング委員会よりご案内

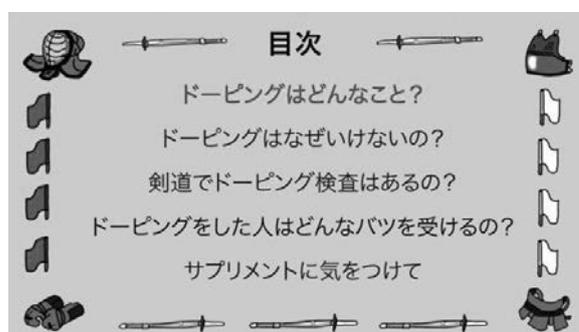
ジュニア剣士のための アンチ・ドーピング道場



▲動画はここから

本動画は小中学生の方にアンチ・ドーピングを知っていただくために作成しました。短い動画ですので、お気軽にご覧ください。

全剣連アンチ・ドーピング委員会



あなたの竹刀は基準を満たしていますか?

長さ?

重さ?

太さ?



動画で
チェック!!

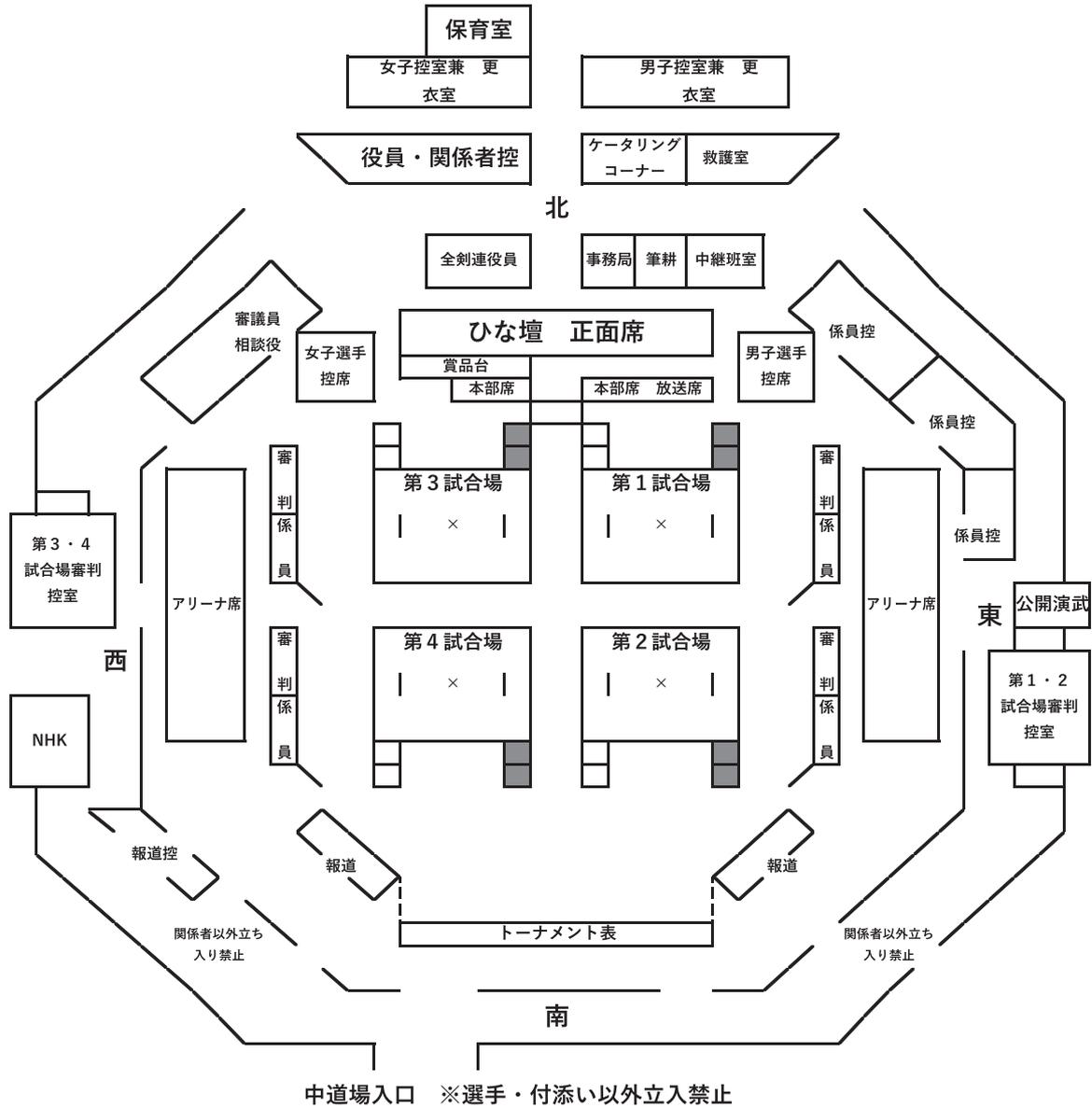


MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

[会場図]

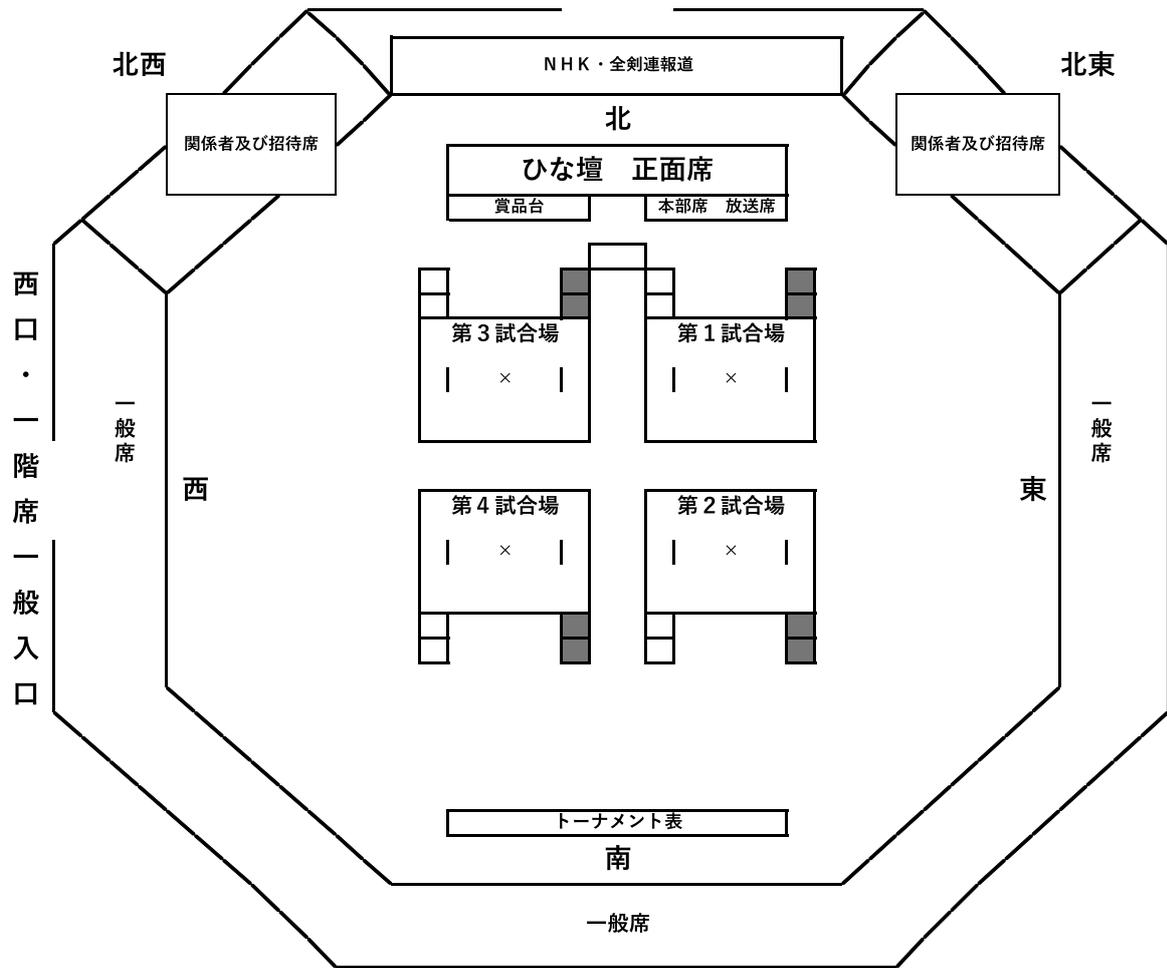
アリーナ階 試合場配置図



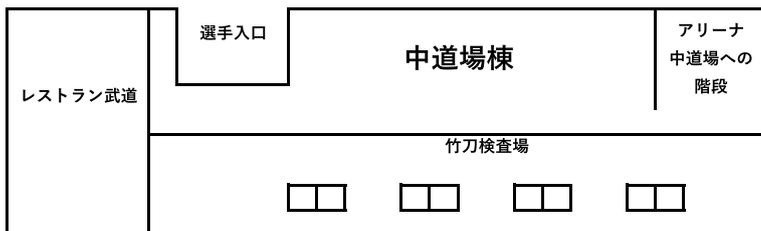
[会場図]

1階席配置図

北口：役員・審判団入口



中道場棟口：選手・付添い入口



月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

私たちは《剣道》を応援しています



トヨタ自動車株式会社



